CARMATE

AILEBEBE

CUTE FIX

エールベベ･キュートフィックス 取扱説明書

このたびは、CUTE FIXをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- 本品を安全に正しくお使いいただくために､必ず使用前に本書をよく読み､内容を十分に理解していただきますようお願いいたします。誤った取り付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 本品は正しい使用および装着をしないと本来の性能を発揮できません。本品を車に取り付ける前に､必ず車種適合をご確認ください。また､取り付ける車を替えられる場合は､再度車種適合をご確認の上､ご使用ください。

⚠警告

本品が入っているビニール袋は､開封後はすぐにやぶり捨ててください。
お子さまがかぶった場合､窒息による死亡事故の原因になる場合があります。

JA

取り付け車種適合のご確認を

必ず車の取扱説明書で本品が取り付け可能か確認すること

本品は「ISO FIX（アイソフィックス）*1」（ECE R44/04基準）に準拠した製品ですが、ISO FIX取付金具を装備したすべての車に取り付けられるものではありません。
本品は、車の取扱説明書にて、チャイルドシート質量グループ、サイズ等級、種類が次のように記されている車に取り付けることができます。

質量グループ：0+、1
サイズ等級：　A、B、B1、E
種類：　後向きの場合- **IL**（ECE R44/04に適合している準汎用型）
前向きの場合- **IUF**（ECE R44/04に適合している汎用型）

■ 車の取扱説明書にある適合表のみかた（例）

次のような表が記載されている場合、2500g ～ 13kgのお子さまには後向きに、9 ～ 18kgのお子さまには前向きに取り付けて使用できることを示しています。

質量グループ	サイズ等級	固定具	車のISO FIX位置			
			助手席	後部外側	後部中央	他の場所
キャリコット	F	ISO/L1	×	×	×	×
	G	ISO/L2	×	×	×	×
0（10kgまで）	E	ISO/R1	×	IL	×	×
0+（13kgまで）	E	ISO/R1	×	IL	×	×
	D	ISO/R2	×	IL	×	×
	C	ISO/R3	×	IL	×	×
1（9から18kg）	D	ISO/R2	×	IL	×	×
	C	ISO/R3	×	IL	×	×
	B	ISO/F2	×	IUF	×	×
	B1	ISO/F2X	×	IUF	×	×
	A	ISO/F3	×	IUF	×	×
II（15から25kg）			×	IL	×	×
III（22から36kg）			×	IL	×	×

注：IL：準汎用型（セミユニバーサル）カテゴリーのISO FIXチャイルドシートを取り付けることができることを示す。
IUF：汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIXチャイルドシートを取り付けることができることを示す。
×：ISO FIXチャイルドシートを装着できないことを示す。

車の取扱説明書でわからない場合は、当社サービスセンター（裏表紙に記載）へお問い合わせください。

*1：**ISO FIXとは？**
ISO FIX（アイソフィックス）とは、車のシートにチャイルドシートを固定する方式の国際標準規格の1つです。チャイルドシートをこれまで一般的だったシートベルトを使用せず、その代わりに、ISO FIX取付金具で固定します。

➡ **取り付け方法は「チャイルドシートを取り付ける－STEP1 取り付け座席を決める」（28ページ～）をご覧ください。**

安全にお使いいただくために

本品は、車での衝突や急停車などによるお子さまの障害を軽減することを目的とした年少者用補助乗車装置です。必ずしもお子さまを無傷で守るものではありません。安全運転を心がけ、また、次の注意事項をお守りください。

① 取り付けの前に、車が適合しているか確かめる

本品は「ISO FIX（アイソフィックス）」（ECE R44/04基準）に準拠した製品です。取り付けようとしている車には「ISO FIX取付金具」が装備されていますか？

➡ 詳しくは「取り付け座席を決める」（28ページ～）をご覧ください。

② 安全の注意事項を確かめる

本書では、注意事項が守られなかった場合に予想される危害・損害の切迫度の大きさにより、「危険」、「警告」、「注意」に区分してあります。

➡ お使いになる前に「安全上の注意」（6ページ～）をよくお読みになり、必ずお守りください。

③ お子さまを乗せる前に取り付けの確認をする

チャイルドシートは一度取り付けても、使用しているうちにトップテザー（13ページ）がゆるむ場合があります。また、お子さまの成長により、チャイルドシートの調節や取り付け方法の変更が必要になる場合もあります。車を発車する前に、トップテザーがゆるんでいないか、お子さまが適切に乗っているか、必ずご確認ください。

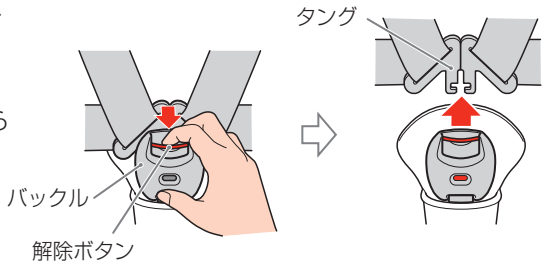
➡ 詳しくは「取り付けの確認をする」（38ページ）、「お子さまを乗せる前に確認しよう」（42ページ）をご覧ください。

④ 万一、事故などの緊急事態が発生したら

緊急時はあわてずに以下の手順でお子さまをチャイルドシートから降ろしてください。

1. バックルの赤い解除ボタンを押し、タングを外す。
2. 肩ベルトをお子さまから外す。
3. お子さまをチャイルドシートから降ろす。
4. 安全な場所へ避難する。

➡ 詳しくは「お子さまを降ろす」（47ページ）をご覧ください。



バックルからタングを外せない場合は…

緊急時に解除ボタンが押せなくなる場合もあります。市販のシートベルトカッターなどを用意しておき、緊急時はチャイルドシートの肩ベルトを切ってお子さまを降ろしてください。

もくじ

はじめに 2

取り付け車種適合のご確認を 2
安全にお使いいただくために 3
もくじ 4
安全上の注意 6
　安全の注意事項 6
　チャイルドシートの取り付けについて 6
　お子さまの乗せかたについて 9
各部のなまえ 12
　正面 12
　背面 13
　取付座席 14

取り付けの前に準備する 15

取り付けの前に準備する 15
　STEP1　お子さまの体重に合ったシートの向きを確認する 16
　STEP2　お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する 19

チャイルドシートを取り付ける／取り外す 27

チャイルドシートを取り付ける 28
　STEP1　取り付け座席を決める 28
　STEP2　取り付け作業スペースを確保する 29
　STEP3　取り付けの前に確認する 30
　STEP4　座席に取り付ける 32
　STEP5　取り付けの確認をする 38
チャイルドシートを取り外す 39

お子さまを乗せる／降ろす 41

お子さまを乗せる 42
STEP1　お子さまを乗せる前に確認しよう 42
STEP2　お子さまを乗せる 43
STEP3　お子さまを乗せたあと確認する 46
お子さまを降ろす 47

その他 49

お手入れ 50
頭用、腰用「ママの手」クッションを取り外す 50
本体カバーを取り外す 51
お手入れする 54
本体カバーを取り付ける 55
本書を収納する 58
保管する 58
廃棄する 58
製品仕様 59

お客様の登録システムについて 59
お問合わせ先 ..... 裏表紙

保証書 ..... 59／裏表紙

安全上の注意

安全の注意事項

取扱説明書および製品本体では、安全の注意事項を次のように表示しています。
表示内容をよくご理解ください。

⚠ 危険	危険事項を守らずに使用した場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる原因となります。
⚠ 警告	警告を守らずに使用した場合、使用者の死亡や重傷を負う事故につながることがあります。
⚠ 注意	注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。

チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 危険

取り付け適合車種以外の車では使用しない

本品はISO FIX（ECE R44/04基準）に準拠した製品ですが、ISO FIX取付金具を装備したすべての車に取り付けられるものではありません。
ご使用の前に、必ず車の取扱説明書、または店頭の車種別適合表、当社サービスセンター（裏表紙に記載）、当社ホームページなどで、お使いになる車に取り付けできるかどうか確認してください。
適合車種以外の車に取り付けた場合、チャイルドシートが正しく固定されず、チャイルドシートごとお子さまが投げ出される危険性が高くなります。

禁止

ISO FIX取付金具があるシート以外に取り付けない

ISO FIX取付金具の装備されていないシートに、本品を車のシートベルトなどで固定することはできません。ISO FIX取付金具以外で固定しようとした場合、チャイルドシートが正しく固定されず、チャイルドシートごとお子さまが投げ出される危険性が高くなります。

- シートに本製品が装着可能なISO FIX取付金具が付いているかどうか、車の取扱説明書でご確認ください。

禁止

走行中に取り付け、取り外しをしない

走行中の取り付け、取り外しは、死亡または重傷を負う原因となります。必ず安全な場所に停車して行ってください。

フロントエアバッグが装備されているシートには取り付けない

エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって死亡または重傷を負う危険があります。

- エアバッグを無作動にできる場合は、車の取扱説明書に従ってください。
- サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみのシートには使用できる場合がありますので、車の取扱説明書でご確認ください。

車の進行方向に対して、横向きや後向きのシートに取り付けない

衝突の際に、お子さまが投げ出される場合があります。
車のシートの向きを変えて使用している場合は、必ず正面に向けてから取り付けてください。

- 車の種類によっては、シートの向きを横向きや後向きに変えることができます。このような車の場合は、走行前に、チャイルドシートを取り付けたシートを必ず正面に向けてください。

⚠警告

緊急時の脱出の妨げになるシートには取り付けない

ISO FIX取付金具があるシートでも、事故などの緊急時に、同乗者の脱出の妨げになるようなシートには取り付けないでください。死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。

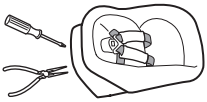
事故や強い衝撃を受けたチャイルドシートは使用しない

事故や、落下などにより本品に強い衝撃が加わると、外観上破損が確認できない場合でも強度が下がってしまうことがあります。そのまま使用すると本製品の性能が十分に発揮できず、衝突の際に死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。
このようなチャイルドシートは必ず、本体に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し、お住まいの自治体の指示に従って処分してください。

本製品を分解、改造、油を差す、および指定部品以外の交換はしない

本体の性能が十分に発揮できず、衝突の際に死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。

分解禁止



シートカバーやクッション材は正しい状態で使用する

シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、大きく破れた状態で使用したりすると、本製品の性能が十分に発揮できず、衝突の際に死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。

禁止

クッションや座布団などをチャイルドシートの下に敷いて取り付けない

クッションや座布団を敷くとチャイルドシートがしっかり固定されず、取り付けがゆるむ原因となります。そのまま使用すると、衝突の際に、お子さまが投げ出される場合があります。

禁止

チャイルドシートを破損しないよう、次の注意事項を守る

次の注意事項でチャイルドシートが破損した場合、その状態で使用したお子さまの死亡や重傷を伴う事故の原因となる場合があります。

- 可動式シートや車のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分など）をはさまない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。
- 保護者、介添者などが椅子など、腰掛けとして使用しない。
- チャイルドシートに重量物を載せない。
- 通常の椅子として使用しない。（チャイルドシート以外の目的で使用しない。）
- 火などの近くや、屋外に長時間放置しない。

指示

⚠注意

チャイルドシートを直射日光にさらさない

金属部分などが熱くなり、やけどの原因となる場合があります。また、お子さまを乗せる前には、金属部分以外でも熱くなっていないか確認してください。
また、チャイルドシートにお子さまが乗っていないときは、タングをバックルやタングポケットに入れておいてください。タングが熱くなりすぎるのを防ぐことができます。

お子さまの乗せかたについて

⚠危険

チャイルドシートのバックルは必ずロックして使用する

衝突の際に、お子さまが投げ出される危険性が高くなります。
また、チャイルドシートを使用中のお子さま、または同乗のお子さまが、誤ってバックルの解除ボタンを押さないようご注意ください。

本書に従い正しい乗車姿勢で使用する

走行中、お子さまを正しい姿勢で乗車させるよう必ず確認してください。
肩ベルトをゆるめるなど誤った使用方法で乗車させると、車が急ブレーキをかけたり衝突事故が起こったりしたときに、お子さまが投げ出される危険性が高くなります。

車の走行中にチャイルドシートの肩ベルトやトップテザーなどの調節、操作を行わない

ベルト調節中や操作中に、車が急ブレーキをかけたり衝突事故が起こったりすると、お子さまが投げ出される危険性が高くなります。
車の走行中にチャイルドシートの肩ベルトやトップテザーなどの調節や操作が必要な場合は、安全な場所に停車してから行ってください。

お子さまを一人で車内に残さない

お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。特に夏場は車内が高温になり、熱中症を引き起こす原因となります。

適応条件を超えたお子さまは使用しない

お子さまの体重により、チャイルドシートの取り付けかたが異なります。お子さまの体重にあわせて使用してください。
また、適応条件を超えたお子さまには使用しないでください。
適応条件を超えたお子さまはしっかり固定されず、衝突時にお子さまが投げ出される原因となります。
適応条件については、「お子さまの体重に合ったシートの向きを確認する」(16ページ)をご覧ください。

バックルに水やジュース、泥水、ゴミなど異物が入った場合は使用しない

バックルに不具合が生じた場合、使用中に突然バックルが外れ、お子さまが投げ出される原因となったり、緊急時にバックルを外すことができず脱出できなくなったりし、大変危険です。
バックルに水やジュース、泥水、ゴミなど異物が入った場合は使用せず、すぐに当社サービスセンター(裏表紙に記載)にご相談ください。

発車前に肩ベルトや腰ベルトを確認する

肩ベルトや腰ベルトで正しくお子さまを固定するために、必ず次の項目を確認してください。守られないと、お子さまの死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。

- 肩ベルトや腰ベルトに傷や破れなどがある場合は使用しない。
- 肩ベルトと腰ベルトは、ねじれたり、ゆるんだりした状態で使用しない。
- 肩ベルトは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- 腰ベルトは骨盤をしっかり拘束できる位置で着用する。

⚠注意

お子さまの洋服におもちゃなどが入っていないか確認する

お子さまとチャイルドシートの間におもちゃなどがはさまり、けがの原因となる場合があります。

指示

固定していないチャイルドシートを車内に置かない

急ブレーキや衝突時に同乗者のけがの原因となる場合があります。

禁止

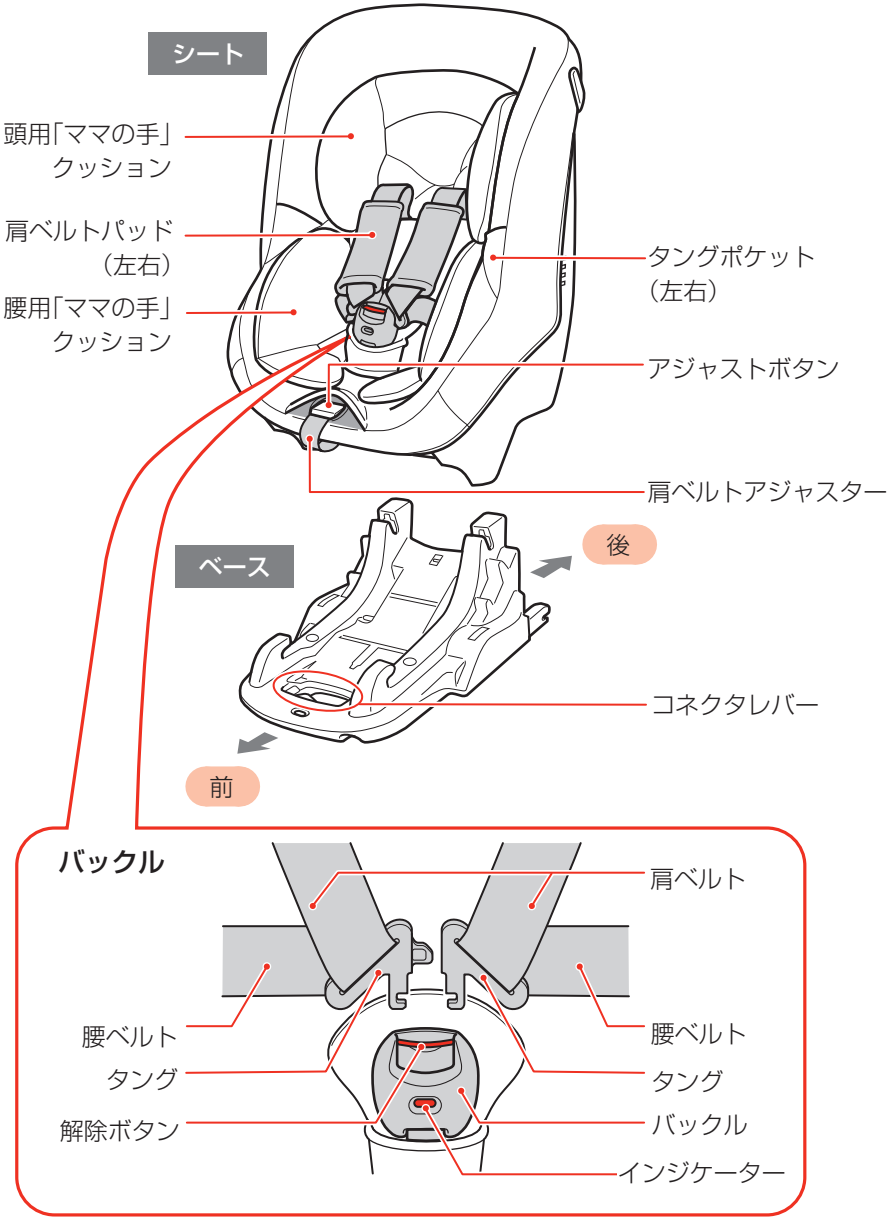
固定していない荷物を車内に置かない

急ブレーキや衝突時に、チャイルドシートで固定されたお子さまや同乗者のけがの原因になるような荷物は必ず固定してください。

禁止

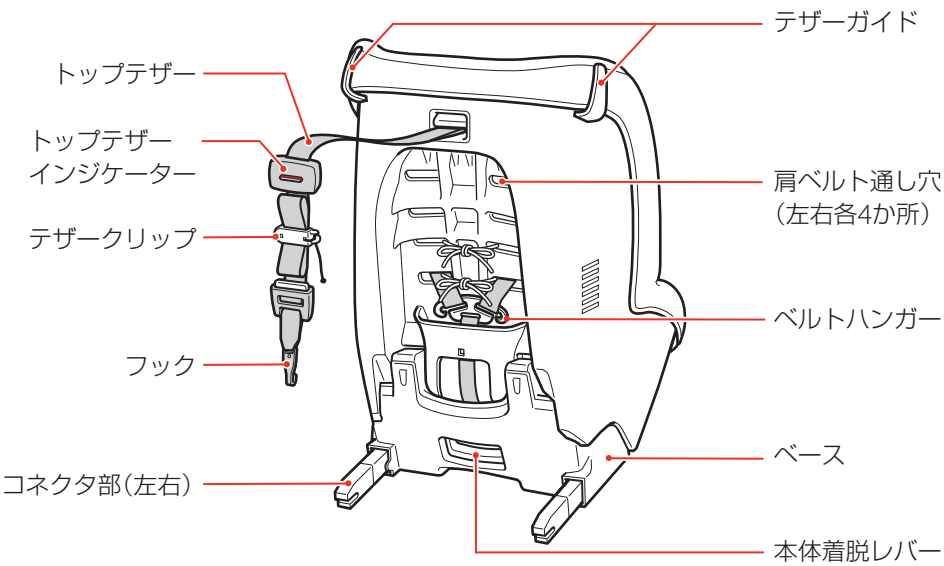
各部のなまえ

正面　ここではベースに対して、取り付けシートが「前向き」のイラストを使用しています。



＊本書では、タングより上側を肩ベルト、下側を腰ベルトと呼んでいます。

背面



付属品

取扱説明書

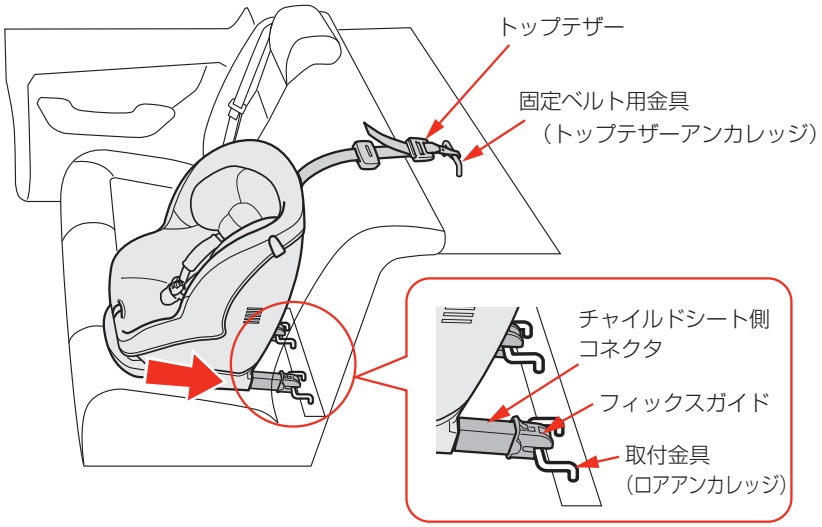
フィックスガイド(2コ)

プライバシー保護シート

お客様
登録カード

取付座席

車により名称や位置が異なる場合があります。必ず、車の取扱説明書で確認してください。



取り付けの前に準備する

車に取り付ける前に、お子さまの体格に合わせて準備してください。

● **STEP1**：お子さまの体重に合ったシートの向きを確認する ➡ 16ページ

● **STEP2**：お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する ➡ 19ページ

ヒント

本製品は**お買い上げ時、シートは「後向き」（新生児、乳児用）に、肩ベルトは「一番下の高さ」（新生児用）**に調節してあります。
お子さまの体重と次ページの表を目安にシートの向きを決め、実際にお子さまを乗せて肩の位置を確認してください。

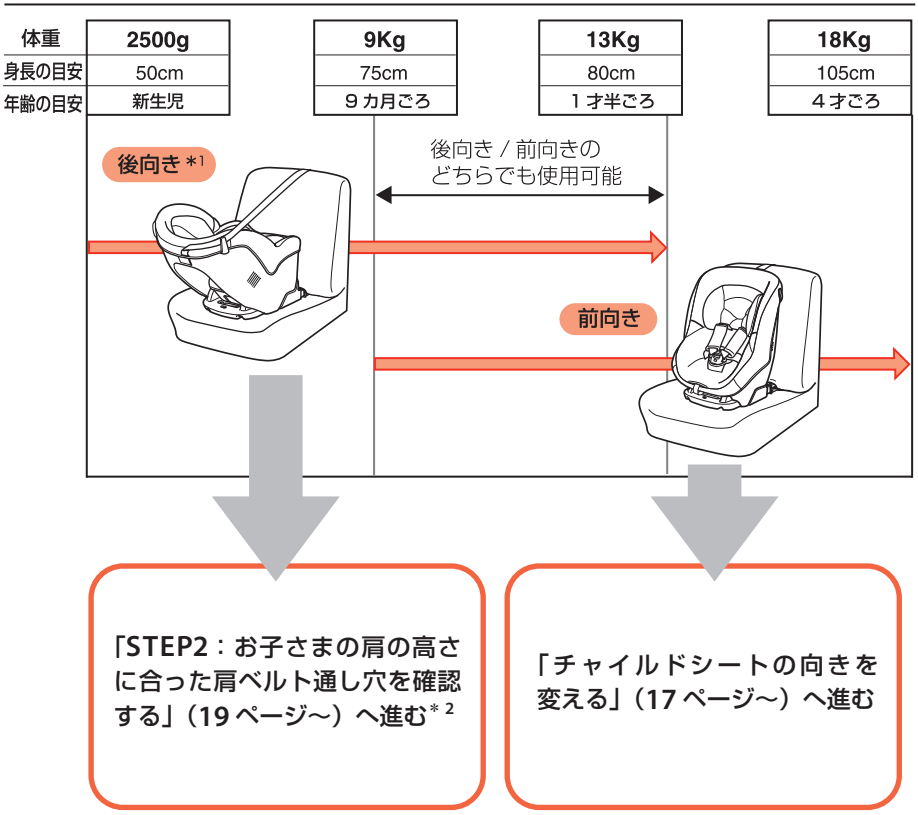
取り付けの前に準備する

STEP1　お子さまの体重に合ったシートの向きを確認する

お子さまの体重によって車の座席に対する取り付け向きが異なります。下記を参考に、お子さまの体重に合ったシートの向きを確認してください。

※出荷時は「後向き」に取り付けてあります。

お子さまの体重でシートの向きを決める



＊1　お子さまの体重が7kg未満の場合は、頭用、腰用「ママの手」クッションを必ず使用してください。

＊2　出荷時は「後向き」に取り付けられるようになっていますが、一度「前向き」に取り付けたものを「後向き」にする場合は、18ページへお進みください。

チャイルドシートの向きを変えるには、ベースから外し、シート部の向きを変えて取り付け直してください。

チャイルドシートの向きを変える

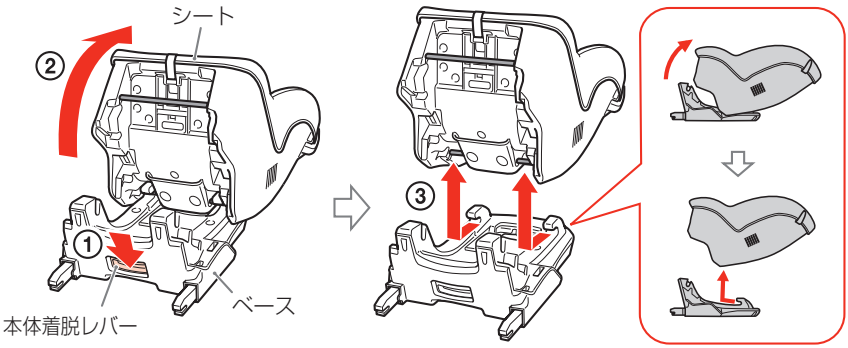
ご注意

チャイルドシートの肩ベルトが伸びていると、肩ベルトをベースとチャイルドシートの間にはさんでしまう場合があります。肩ベルトはハーネスアジャスターを引いた状態で作業してください。

後向き（新生児、乳児用） ➡ 前向き（幼児用）に変える

「後向き」のまま向きを変える必要がない場合は、「STEP2：お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する」（19ページ）へ進んでください。

1 ベースの後方にある本体着脱レバーを押し、シートのロックを外す。

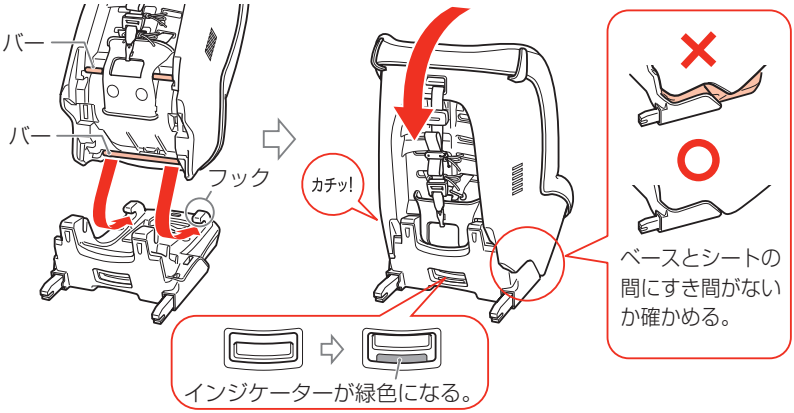


2 シートの方向を変える。

ベースはそのままで、シートの向きを「後向き」から「前向き」にします。

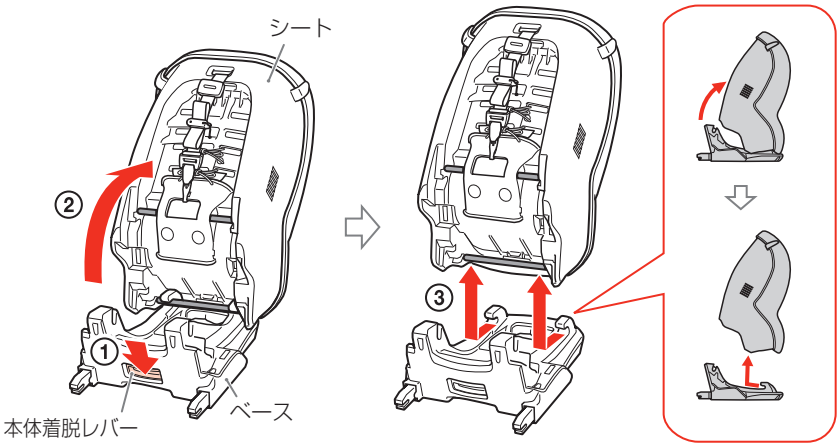
3 ベースのフックにシートの前側のバーをかけ、図のようにベース前方へ「カチッ」と音がするまで押し下げる。

インジケーターが「緑色」になったことを確認してください。



前向き（幼児用） ➡ 後向き（新生児、乳児用） に変える

1 ベースの後方にある本体着脱レバーを押し、シートのロックを外す。

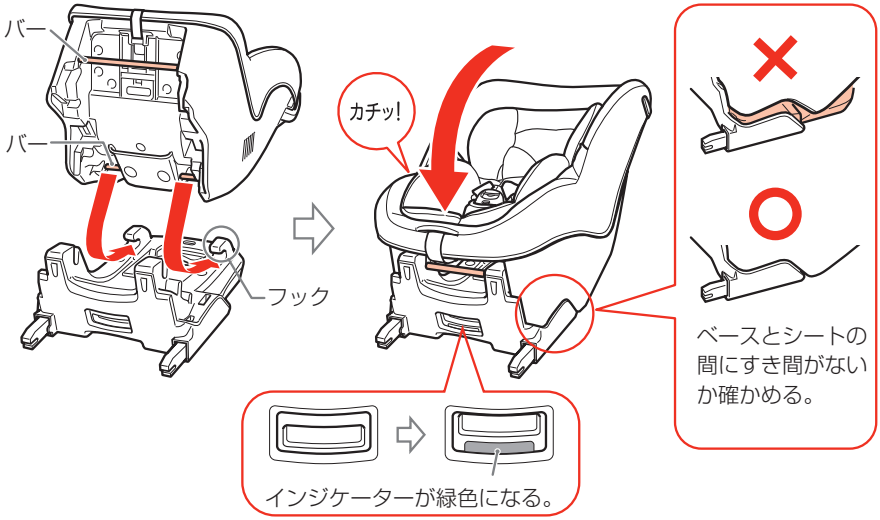


2 シートの方向を変える。

ベースはそのままで、シートの向きを「前向き」から「後向き」にします。

3 ベースのフックにシートの後側のバーをかけ、図のようにベース前方へ「カチッ」と音がするまで押し下げる。

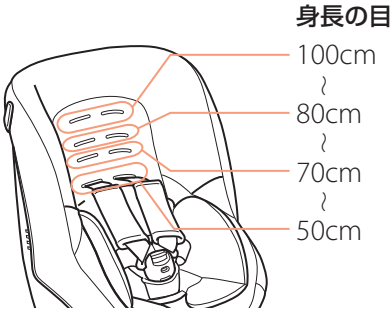
インジケーターが「緑色」になったことを確認してください。



STEP2 お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する

お子さまをチャイルドシートにしっかりと固定するため、下図を参考にお子さまの体格に合わせて肩ベルトの高さを変えてください。

■ 肩ベルト高さの目安

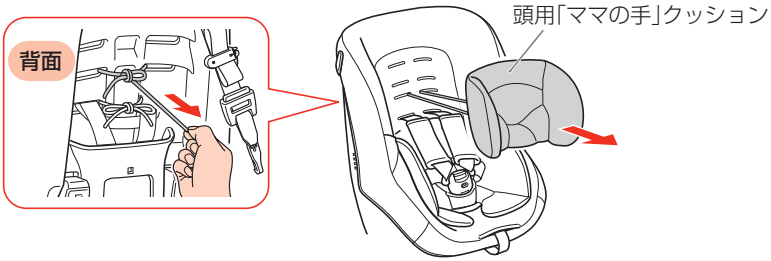


ヒント

左図は目安です。21ページの手順5を参考にお子さまに合わせて選んでください。

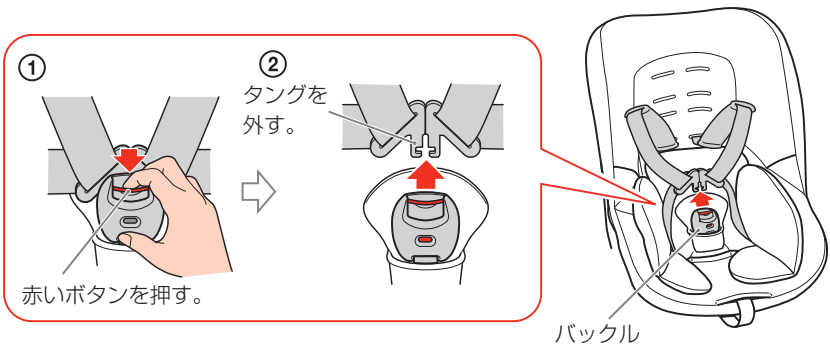
1 頭用「ママの手」クッションを取り外す。(肩ハーネス通し穴を確認しやすくするため)

背面の上側にあるひもの結び目を解き、前から引き抜いてください。

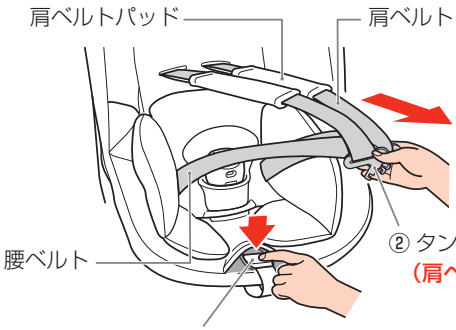


取り外した頭用「ママの手」クッションは、「頭用「ママの手」クッションの取付けかた」(25ページ)で取り付けます。

2 ①バックルの赤いボタンを押し、②バックルからタングを外す。



3 ①アジャストボタンを押しながら、②肩ベルトを引き出せなくなるまで引き出してゆるめる。



ヒント

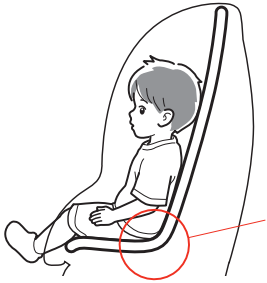
- 肩ベルトを引き出すときには、**肩ベルトパッドを引っ張ってもゆるみません。**タング、またはタングの付いている肩ベルトを引っ張ってください。
- 肩ベルトはアジャストボタンを押している間だけ、引き出してゆるめることができます。

4 お子さまをチャイルドシートに深く座らせる。

確実に調節するため、必ずお子さまをチャイルドシートに乗せて確認してください。

後向き

前向き



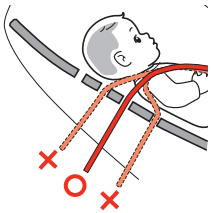
5 お子さまをチャイルドシートに乗せたまま、お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する。

「適切な肩ベルトの高さ」の図を参考に、肩ベルトをお子さまの肩に一番近く、お子さまの肩から背もたれに対して垂直になる穴の位置を選んでください。

ただし、後向きに乗せる場合と、前向きに乗せる場合では、合わせる目安が異なります。必ず、お子さまの体重に合った向きで乗せてください。

■ 適切な肩ベルトの高さ

後向き



お子さまの肩より少し下、または垂直になるように合わせます。

前向き

お子さまの肩より少し上、または垂直になるように合わせます。

肩の位置が現在の肩ベルトの高さであっている場合は

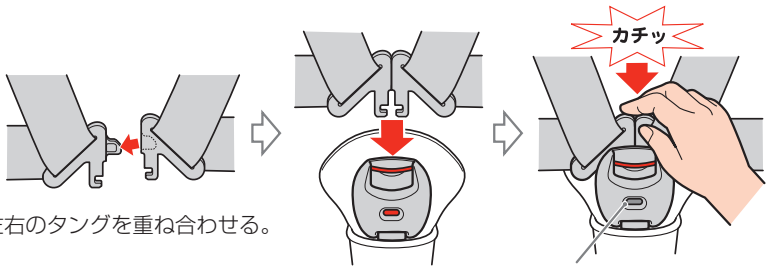
「頭用「ママの手」クッションの取付けかた」(25ページ)、「チャイルドシートを取り付ける」(28ページ～)へ進んでください。

肩ベルトの高さを変える場合は

次の「お子さまの体格に合わせて、肩ベルトの高さを合わせる」へ進んでください。

お子さまの体格に合わせて、肩ベルトの高さを合わせる

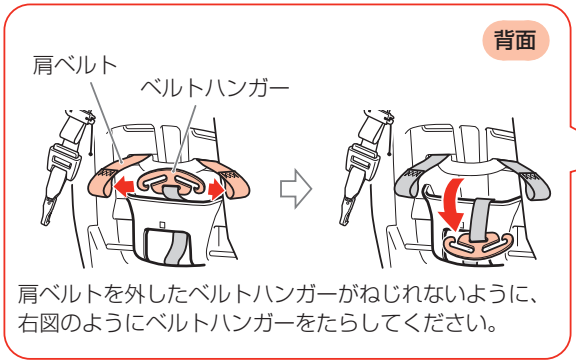
1 お子さまを降ろし、タングをバックルに戻す。



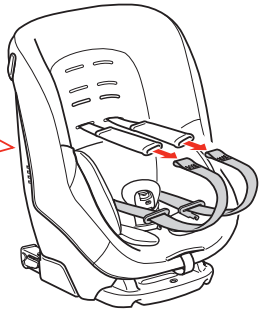
左右のタングを重ね合わせる。

インジケーターが緑色になる。

2 背面にあるベルトハンガーから肩ベルトを外し、シート正面から肩ベルトを引き抜く。



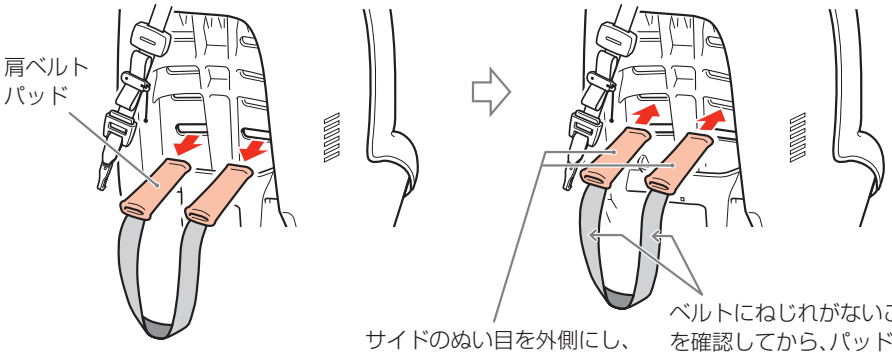
肩ベルトを外したベルトハンガーがねじれないように、右図のようにベルトハンガーをたらしてください。



ヒント

ベルトハンガーが見当たらない(見つからない)のは、ベルトハンガーがベースの中にかくれているためです。**肩ベルトを十分にゆるめて**ベルトハンガーを外側に引き出してください。

3 肩ベルトパッドを背面から引き抜き、お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴に、肩ベルトパッドがねじれないように通し直す。

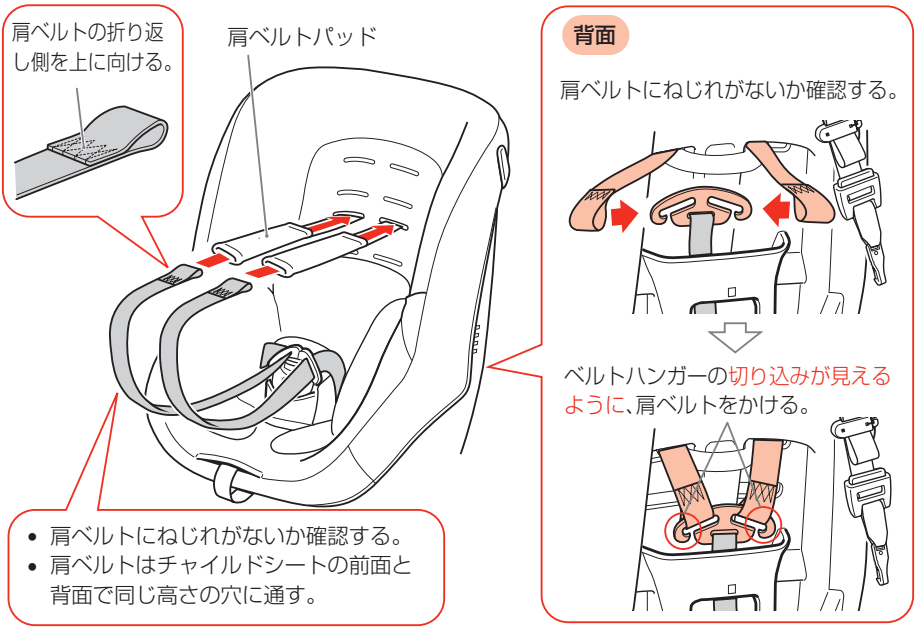


サイドのぬい目を外側にし、肩パッドの裏側(ゴム面)を下に向ける。

ベルトにねじれがないことを確認してから、パッドを前面と背面で同じ高さの穴に通してください。

4 肩ベルトパッドに肩ベルトを通し、さらに手順3で肩ベルトパッドを通した同じ穴に肩ベルトを通す。背面に出た肩ベルトをベルトハンガーにかける。

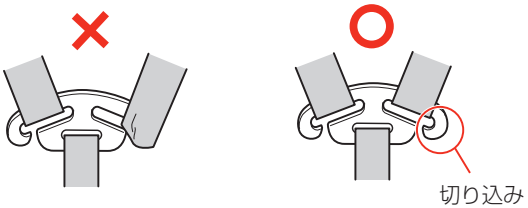
肩ベルトがねじれていないかを確かめ、ベルトハンガーの切り込みが見えるように確実に取り付けてください。



⚠警告

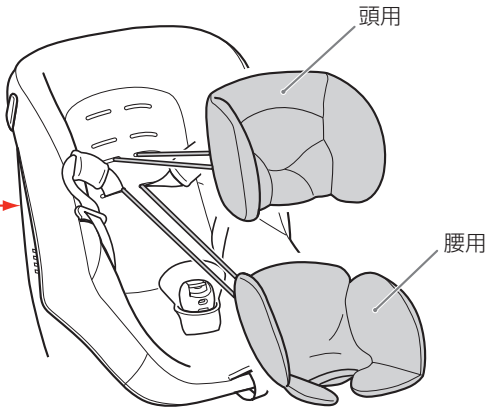
次のような場合、衝突時に肩ベルトがゆるむことにより、お子さまを適切に保護できずに死亡や重傷に至るおそれがあります。肩ベルトの高さを変更したあとは、肩ベルトの状態を確認してください。

- 正しい肩ベルトの高さに調節されていない。
- 肩ベルトがねじれて取り付けられている。
- ベルトハンガーの切り込みが見えない。(下図)



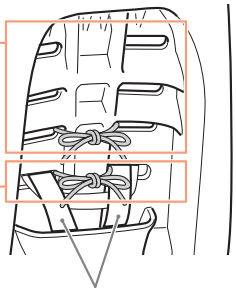
5 「ママの手」クッションの位置を合わせる。

「ママの手」クッションは、特に新生児を保護するためのクッションです。頭用と腰用の2種類のクッションで構成されています。



頭用クッション用穴
頭用クッションは、肩ベルトを通した穴より1段上の穴に通す。

腰用クッション用穴
腰用クッションは、つねに一番下の穴に通す。



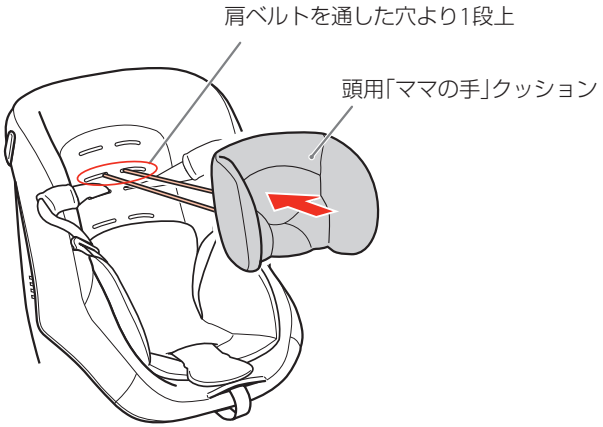
■ 頭用「ママの手」クッションの取り付けかた

ヒント

- お子さまの体重が7kg未満の場合は、頭用、腰用「ママの手」クッションを必ずご使用ください。
- 頭用「ママの手」クッションを使用時、お子さまの頭が窮屈そうな場合は、頭用「ママの手」クッションを取り外してください。
- 肩ベルトを一番上に通している場合は、頭用「ママの手」クッションを取り付けないでください。

1 **STEP2の手順1（19ページ）で取り外した頭用「ママの手」クッションを戻す。**

頭用「ママの手」クッションは、肩ベルトを通した穴より1段上の穴に通してください。



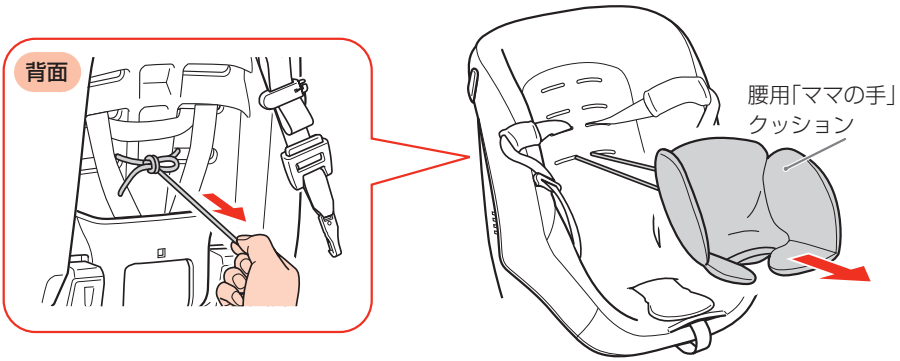
2 **穴に通したら、背面でひもを結ぶ。**

■ 腰用「ママの手」クッションの取り外しかた

体重が7kg以上のお子さまをチャイルドシートに乗せたとき、お子さまの腰部が窮屈そうな場合は、取り外してください。

1 腰用「ママの手」クッションを取り外す。

背面の下側にあるひもの結び目を解きます。腰用「ママの手」クッションをバックルから外し、手前へ引き抜いてください。



チャイルドシートを取り付ける／取り外す

【チャイルドシートを取り付ける】

- **STEP1**：取り付け座席を決める　➡ 28ページ
- **STEP2**：取り付け作業スペースを確保する　➡ 29ページ
- **STEP3**：取り付けの前に確認する　➡ 30ページ
- **STEP4**：座席に取り付ける　➡ 32ページ
- **STEP5**：取り付けの確認をする　➡ 38ページ

【チャイルドシートを取り外す】　➡ 39ページ

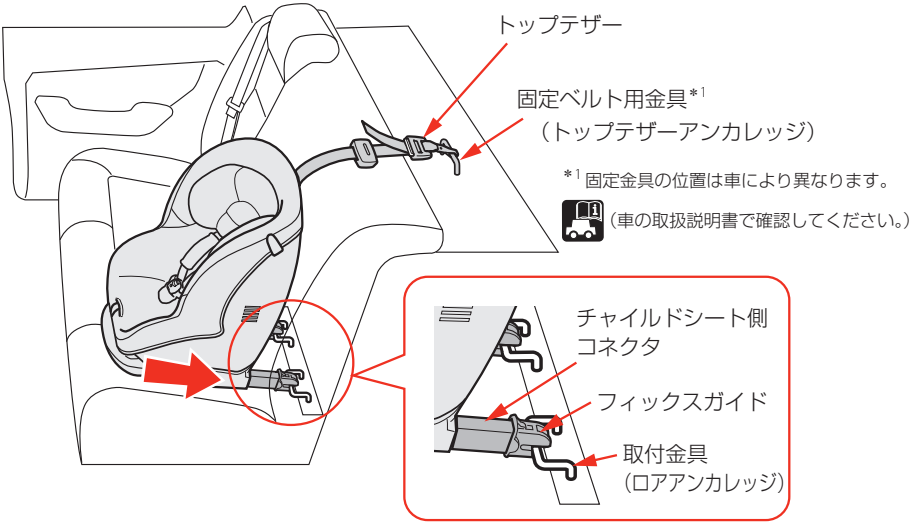
ヒント

- **STEP3、4**では、前向きの取り付けイラストで説明します。後向きと前向きで取り付けかたが異なる場合のみ、それぞれのイラストで説明します。
- 「前向き」、「後向き」の向きの変えかたについては「取り付けの前に準備する－STEP1：お子さまの体重に合ったシートの向きを確認する」（16ページ）でご確認ください。

チャイルドシートを取り付ける

STEP1 取り付け座席を決める

本品は、ISO（国際標準化機構）がチャイルドシートの固定装置の大きさや取り付け方法を統一した規格である「ISO FIX（アイソフィックス）」に準拠した製品です。
そのため本品は、汎用型ISO FIX取付金具が装備された座席にのみ取り付けることができます。
車の取扱説明書などで、ISO FIX取付金具の装備された座席と金具の位置を確認し、取り付ける座席を決定してください。（「車の取扱説明書にある適合表のみかた（例）」（2ページ）も参照ください。）



⚠ 危険

本品は、ISO FIX取付金具の装備されていない座席に、車のシートベルトなどで固定することはできません。ISO FIX取付金具以外で固定しようとした場合、チャイルドシートが正しく固定されず本来の性能が発揮できません。

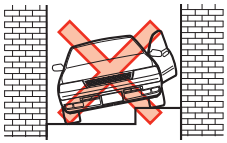
ご注意

車のシートに取付け跡が残る場合があります。

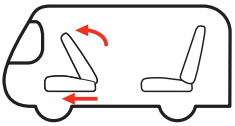
STEP2 取り付け作業スペースを確保する

安全に取り付け作業を行うため、次のように作業スペースを確保してください。

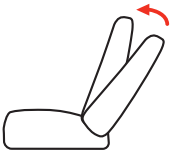
1 取り付け作業は本品の持ち運びができ、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所に車を移動してください。



2 取り付ける座席の前の席を倒したり、スライドさせたりし、できるだけ車内の作業スペースを広くしてください。



3 リクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車の取扱説明書で指示されている位置に合わせてください。



STEP3 取り付けの前に確認する

1 お子さまの体格に合わせ、シートの向きや肩ベルトの高さを調節する。

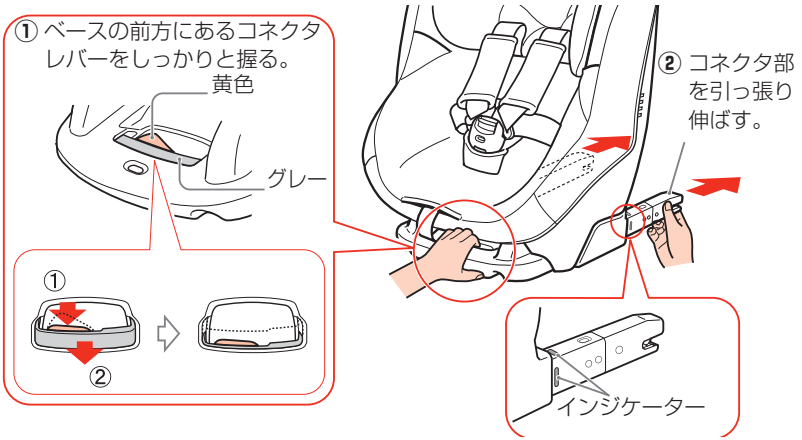
詳しくは「取り付けの前に準備する」(15ページ～)をご覧ください。

2 コネクタ部のインジケーターが緑色になっているか、見えない位置にある場合は、①ベース前方にあるコネクタレバーをしっかりと握りながら、②コネクタ部を引っ張り伸ばす。

コネクタレバーは黄色とグレーのレバーからなっています。両方のレバーをしっかりと握りながら、コネクタ部を引っ張ります。

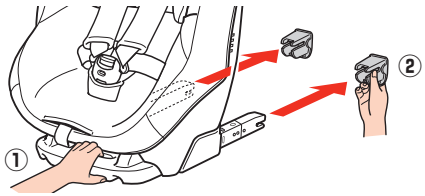
コネクタ部は左右ありますので、片方ずつ行ってください。

最後まで引っ張ると、**コネクタ部のインジケーターが**「赤色」になります。

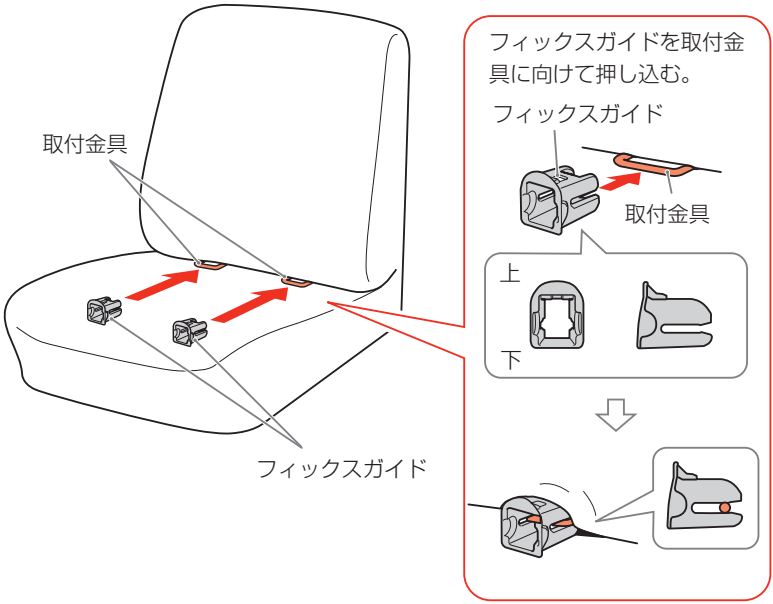


ヒント

フィックスガイドがコネクタ部に付いている場合は、
①ベース前方にあるコネクタレバーをしっかりと握りながら、
②コネクタ部が最後まで伸びてから、さらにフィックスガイドを強く引っ張る。



3 フィックスガイドが取り付け可能な座席は、座席の両端にある取付金具（ロアアンカレッジ）に止める。



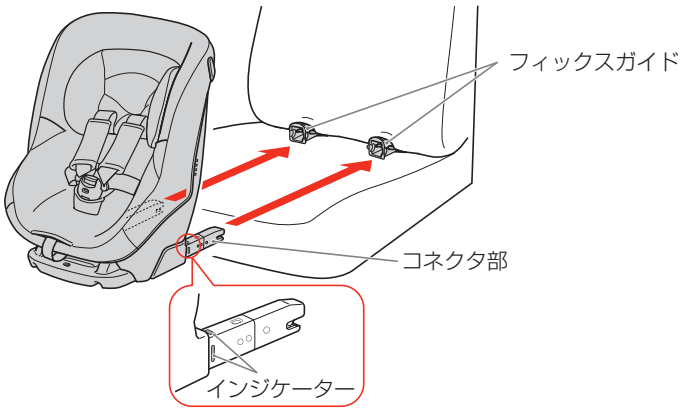
ヒント

- 取付金具はシートにかくれて見えにくいため、フィックスガイドを使うことで、チャイルドシートを取り付けやすくします。
- 車によっては取付金具がシートの奥にかくれている場合があります。この場合は、シートの背もたれを持ち上げて取付金具を見つけ、フィックスガイドを取り付けてください。
- 車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席の取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けしてください。

STEP4 座席に取り付ける

1 チャイルドシートを座席に乗せ、左右両方のコネクタ部をそれぞれのフィックスガイドにまっすぐに、コネクタ部のインジケーターが緑色になるまでしっかり押し込む。

取付金具とコネクタ部がロックされるとそれぞれのコネクタ部にあるインジケーターが「緑色」になります。

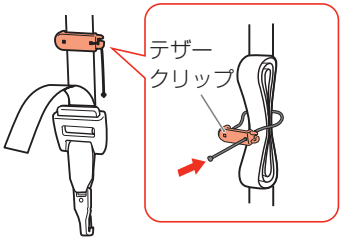


2 ベースのコネクタレバーを握りながら、チャイルドシートを車の座席に押し付ける。コネクタレバーを離してチャイルドシート全体をシートに押し付け、ベースの前側のインジケーターを「緑色」にする。

インジケーターの色が変わらないときは、レバーを握らずにチャイルドシート全体を座席に向けて強く押し込んでください。

3 トップテザーをまとめているテザークリップのひもを外す。

外したクリップは、紛失防止のため、取り外さずにインジケーターとフックの間にそのまま付けておいてください。



4 トップテザーを車の固定金具(トップテザーアンカレッジ)(14ページ)に届く長さまで伸ばす。

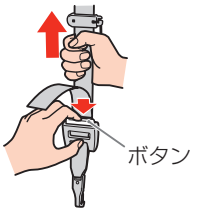
ヒント

車の固定金具の位置は、車の取扱説明書で確認してください。

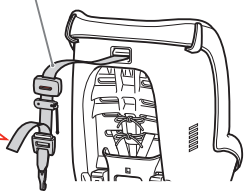
トップテザーの長さ調節

伸ばすとき：ボタンを押しながらトップテザーを引っ張る。

短くするとき：トップテザーの余っている方を、矢印の方向へ引っ張る。(このときボタンを押す必要はありません。)



トップテザー



5 トップテザーのフックを車の固定金具(トップテザーアンカレッジ)に取り付ける。

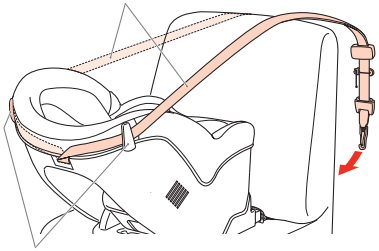
⚠警告

- トップテザーがねじれないように気をつけてください。トップテザーがねじれているとチャイルドシートが正しく固定されず、本来の性能が発揮できません。
- トップテザーのフックは必ずトップテザーアンカレッジに取り付けてください。

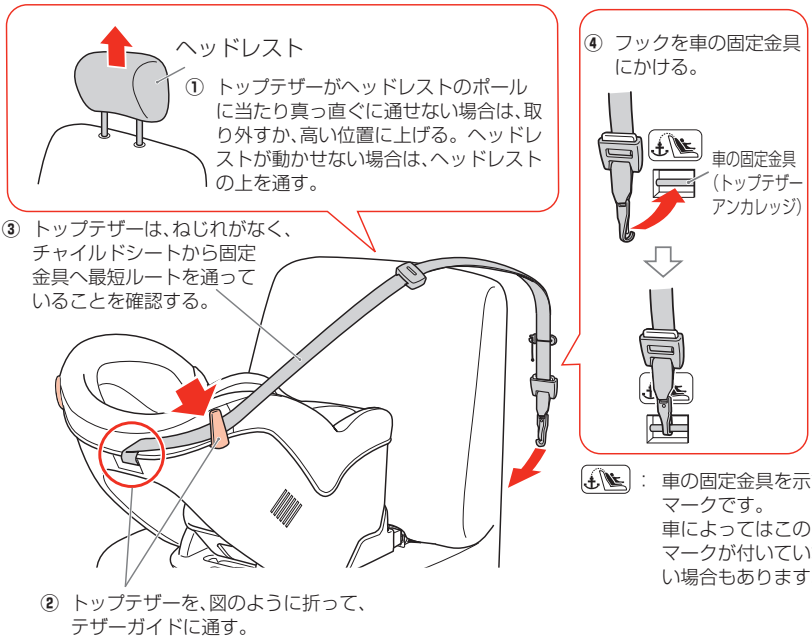
■ 後向きに取り付ける場合

図のように、トップテザーをチャイルドシートのテザーガイドに必ず通してください。トップテザーは、チャイルドシートの左右どちら側から引き回しても構いません。お子さまの乗せ降ろしのじゃまにならない側に回すなど、考慮して選んでください。

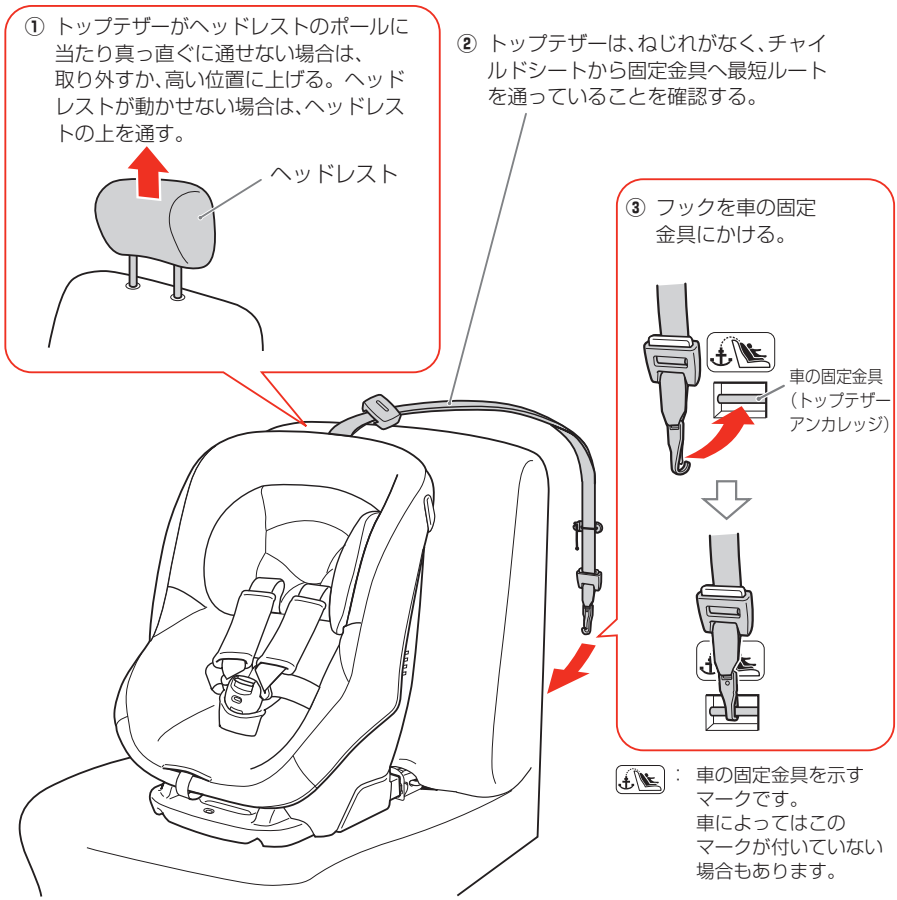
お子さまの乗せ降ろしにじゃまにならない側にトップテザーを引き回す。



テザーガイド



■ 前向きに取り付ける場合

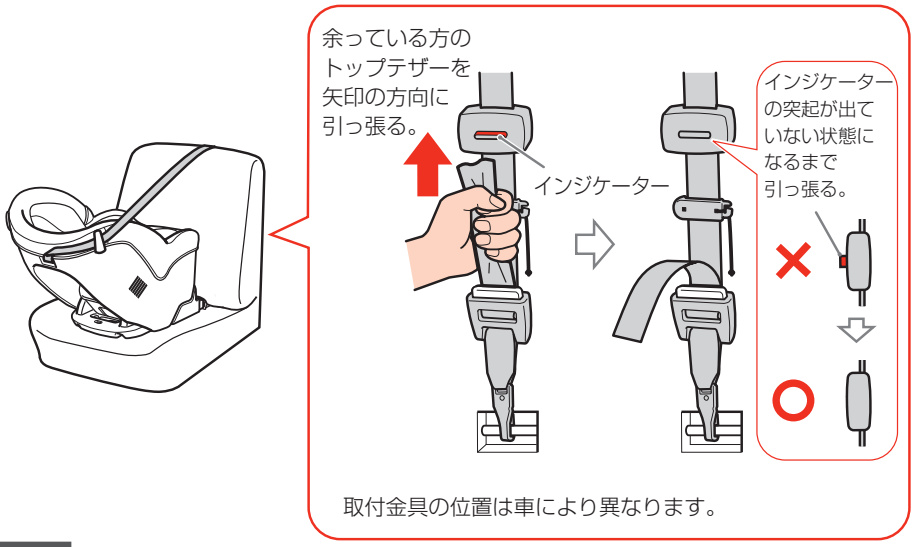


ご注意 ヘッドレストやトノカバーの取り扱いについては、車に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 車によってはトノカバー（荷室の目隠し）がじゃまになるため、取付金具（トップテザーアンカレッジ）が取り付けられないことがあります。この場合は、トノカバーを取り外してください。
- ヘッドレストやトノカバーを外して車内に保管する場合は、急停車したときなど、ヘッドレストやトノカバーが飛び出して運転の妨げになったり、同乗者にけがを負わせたりしないようにご注意ください。

6 トップテザーにあるインジケーターを確認しやすい位置へ動かし、突起が出ていない状態になるまで図のように余っている方のトップテザーを引っ張る。

トップテザーが、チャイルドシートから車の取付金具（トップテザーアンカレッジ）まで最短の長さとなるように確認してから引っ張ってください。

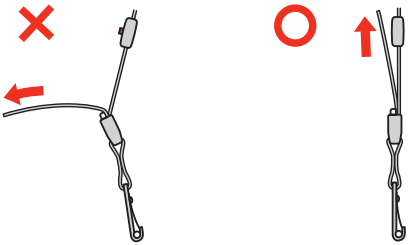


ご注意

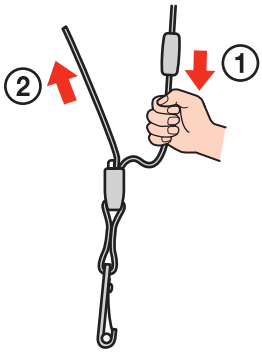
- 後ろ向きに取り付ける場合、トップテザーが座席の背もたれからずり落ちてしまうような座席には取り付けないでください。
- トップテザーは、たるみがなくなるまで締めれば十分な効果を発揮します。インジケーターの突起が引っ込むとたるみがなくなります。締めすぎると、お車のシートに取り付け跡が残りやすくなりますのでご注意ください。

■ インジケーターの突起が変わらないときは

- トップテザーを引っ張る方向が間違っていると、インジケーターの突起が出ていない状態になるまで引っ張ることができません。右図のように、方向を調整して引っ張ってください。

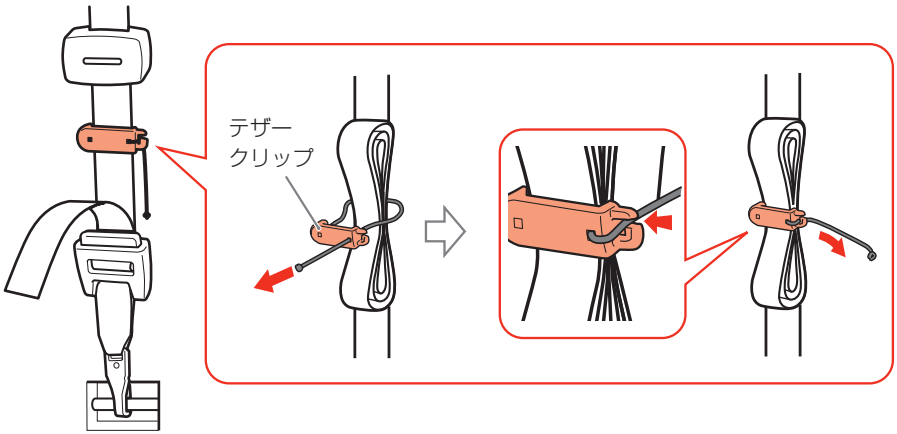


- チャイルドシートにつながっている方のベルト①をフック側に引いてたるませてから、余っている方のベルト②を引っ張ると締めやすくなります。



ヒント

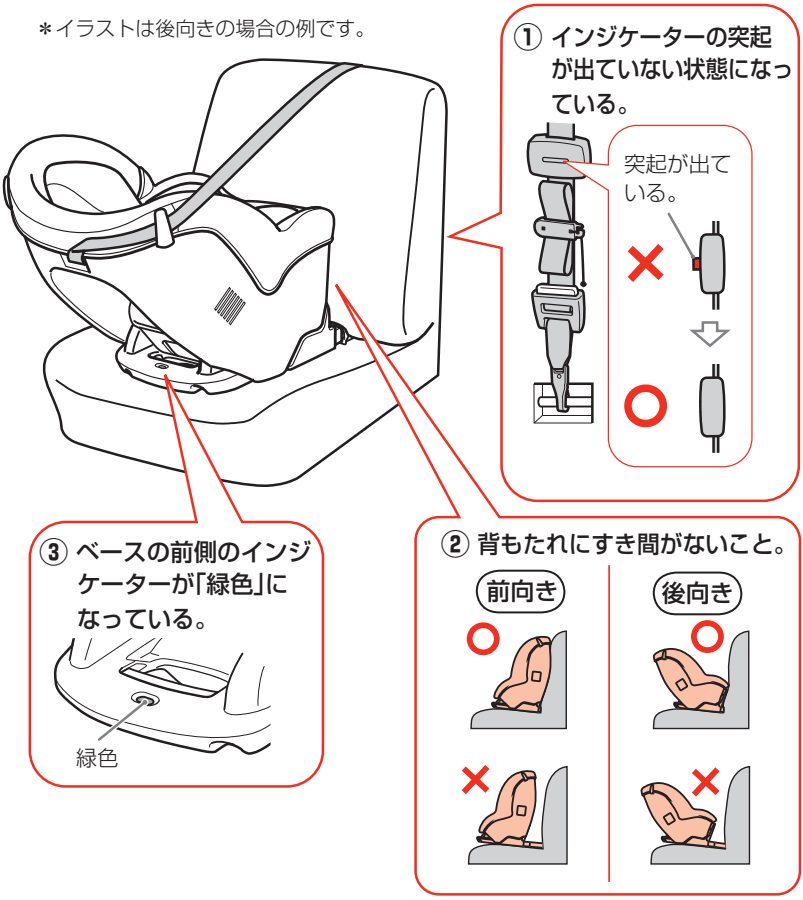
トップテザーが余った場合は、お子さまの手の届かない位置にテザークリップでまとめてください。



STEP5 取り付けの確認をする

取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されているか、次のポイントを確認してください。

＊イラストは後向きの場合の例です。



①②③の確認ができれば、取り付けは完了です。

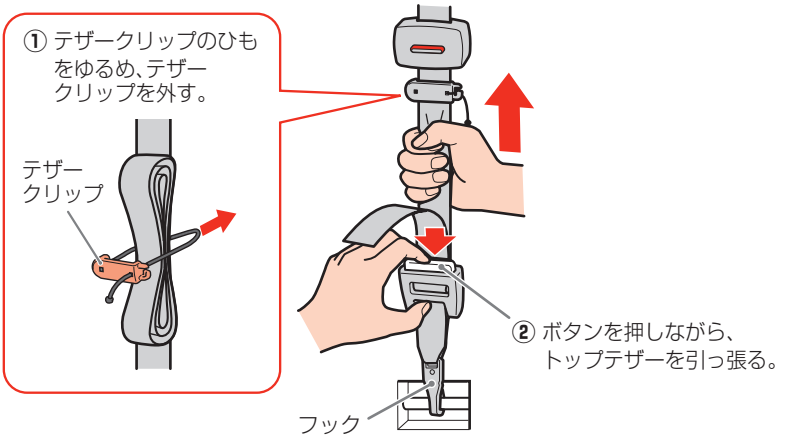
ご注意

トップテザーを引っ張ったときにベースの前側が浮いてしまう場合は、車の座席に密着していない可能性があります。チャイルドシートをさらに座席に押し込むか、車の座席のリクライニングを立ててからもう1度取り付け直してください。

チャイルドシートを取り外す

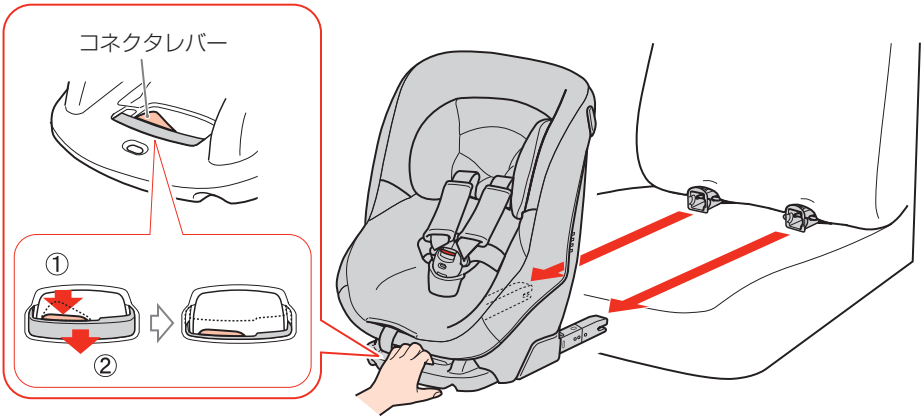
1 **①トップテザーの余りをまとめてあるテザークリップを外し、②トップテザーのボタンを押しながらチャイルドシートにつながっている側のトップテザーを引っ張る。**

トップテザーがゆるむと、フックが取り外しやすくなります。



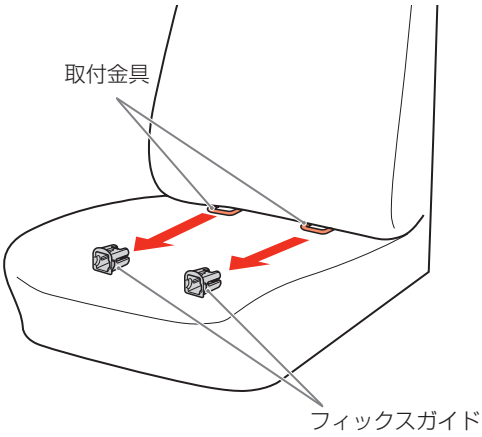
2 **車の固定金具(トップテザーアンカレッジ)に固定されているトップテザーのフックを取り外す。**

3 **ベースのコネクタレバーを握りながら、チャイルドシート全体を引っ張るようにして、座席の取付金具(ロアアンカレッジ)に固定されているコネクタ部を引き抜く。**



ベースの前方にあるコネクタレバーをしっかり握る。

4 車の座席からフィックスガイドを引き抜く。



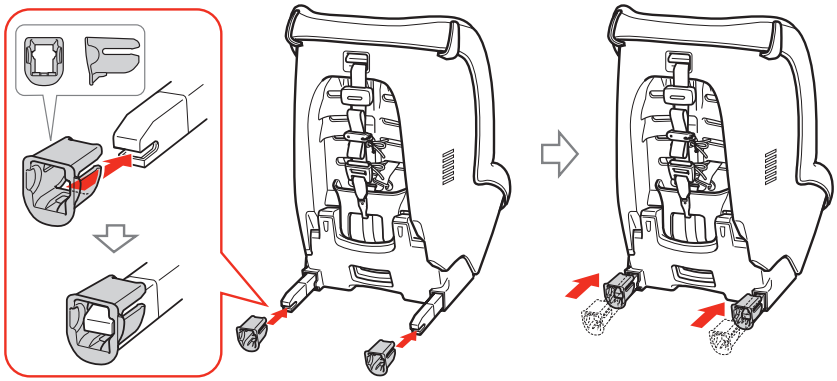
ヒント

コネクタ部はフィックスガイドを取付けることで短くできます。

チャイルドシートを使用しないときはコネクタ部保護のため、ベースの左右のコネクタ部にフィックスガイドを必ず取り付けてください。コネクタ部を短くすることができ、また、フィックスガイドの紛失防止になります。

チャイルドシートのコネクタ部にフィックスガイドを取り付け、コネクタレバーを握ってコネクタ部が短くなるように押し込んでください。コネクタ部は左右ありますので、片方ずつ行ってください。

フィックスガイドは、下図のように、車の座席への取り付け時とは上下が逆になります。



お子さまを乗せる／降ろす

【お子さまを乗せる】

● **STEP1**：お子さまを乗せる前に確認しよう　➡ 42ページ

● **STEP2**：お子さまを乗せる　➡ 43ページ

● **STEP3**：お子さまを乗せたあと確認する　➡ 46ページ

【お子さまを降ろす】　➡ 47ページ

お子さまを乗せる

STEP1 お子さまを乗せる前に確認しよう

① シートの向きは正しいですか？

安全にお使いいただくため、お子さまの体重によりシートの設置向きが違います。

➡「お子さまの体重に合ったシートの向きを確認する」（16ページ）を見て確認してください。

② 肩ベルトの高さはお子さまの体格に合っていますか？

正しい高さに合っていないと、衝突時に適切に保護することができません。

➡「お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する」（19ページ）を見て調節してください。

③「ママの手」クッションが正しく取り付けられていますか？

「ママの手」クッションは出荷時に取り付けてあります。
お子さまの成長に合わせて、位置を調節してください。

➡「頭用「ママの手」クッションの取り付けかた」（25ページ）をご覧ください。

ヒント

お子さまをシートに座らせたとき肩ベルトにたるみがある場合は、腰用「ママの手」クッションを使用してください。

④ お子さまは極端な厚着をしていませんか？

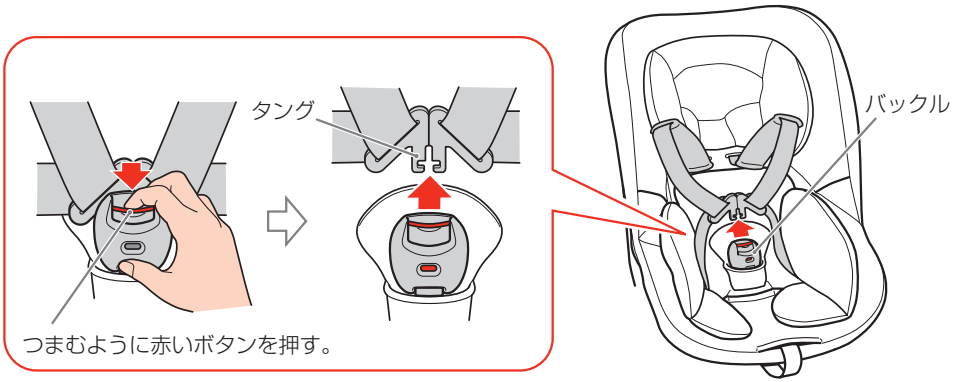
厚着をしていると、肩ベルトでしっかり拘束できない場合があります。
薄着にして乗せたあとで、上着やタオルをかけるか、車のエアコンで車内の温度を調節してください。

⑤ チャイルドシートが熱くなっていませんか？

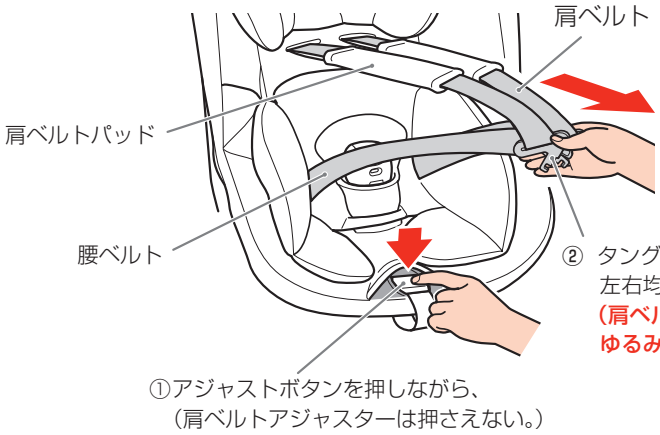
車が直射日光に長時間さらされるとチャイルドシートが熱くなる場合があり、特に金属部分はやけどの原因となります。熱くなっていないことを確認してから使用してください。
熱い場合は、温度が下がってからご使用ください。

STEP2 お子さまを乗せる

1 バックルの赤いボタンを押し、バックルからタングを外す。



2 ①アジャストボタンを押しながら、②肩ベルトを引き出してゆるめる。



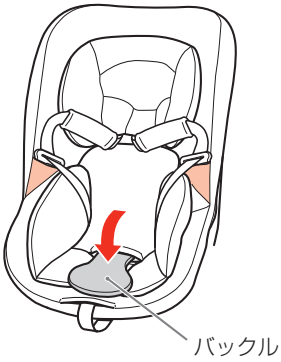
ヒント

- 肩ベルトを引き出すときには、**肩ベルトパッドを引っ張ってもゆるみません。**タング、またはタングの付いている肩ベルトを引っ張ってください。
- 肩ベルトはアジャストボタンを押している間だけ、引き出してゆるめることができます。

3 外したタングを本体側面にあるタングポケットに入れる。

肩ベルトがじゃまになりません。

4 バックルを前に倒す。



5 お子さまを適切な位置に座らせる。

新生児の場合　後向き

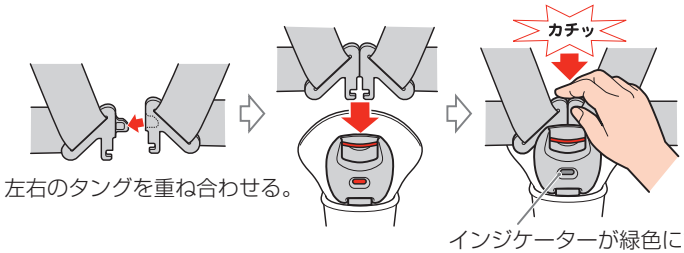
幼児の場合　前向き

6 お子さまの腕を肩ベルトに通し、バックルを立てる。

ご注意

肩ベルトパッドのゴム面がお子さまの体側です。

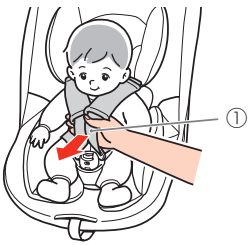
7 左右のタングを重ね合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。



ヒント

安全のため、左右のタングを重ね合わせないとバックルに差し込めない構造になっています。

8 肩ベルトのたるみがなくなるまで肩ベルトアジャスターを引く。① ②の動作をくり返しながらたるみをなくす。



① 胸のところに手を入れて肩ベルトを引っ張り、腰ベルトのゆるみを取る。

②アジャスターを引く。

⚠警告

肩ベルト/腰ベルトは正しく締め付けてご使用ください。正しい締め付けがされていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

ヒント

肩ベルトのたるみがなくなるまで肩ベルトアジャスターが引けない場合は、シートの裏側にベルトハンガーが引っ掛かっている場合があります。その場合は、アジャストボタンを押しながら、もう一度肩ベルトを左右均等に引き出すことで引っ掛かりが外れます。その後肩ベルトアジャスターをゆっくり引いてベルトを締め付け直してください。

➡ 詳しくは「お子さまを乗せる」(43ページ)をご覧ください。

STEP3 お子さまを乗せたあと確認する

安全にお使いいただくため、お子さまを乗せ終わったら、必ず以下のチェックポイントをご確認ください。

① 正しい肩ベルトの高さに調節されている。

② 肩ベルト / 腰ベルトと お子さまの間にたるみがないこと。

④ 腰ベルトが骨盤にあたっている。

③ **新生児の場合：**
一番深い位置におしりがのっている。
幼児の場合：
お子さまが深く腰かけている。
（P44 の手順 5 参照）

⑤ バックルのインジケーターが緑色になっていることを確認する。

ご注意

バックルに水やジュース、泥水、ゴミなど異物が入らないようにご注意ください。もし入ってしまった場合は、当社サービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

新生児のお子さまをチャイルドシートに乗せたら

お子さまの負担を考え、次の事項をお守りください。

- チャイルドシートにお子さまを乗せて走行中、お子さまの乗車姿勢がくずれたり、気分が悪くなったりした場合は、そのまま運転を続けずに安全な場所に停車してください。
- 1時間を目安に休憩をお取りください。

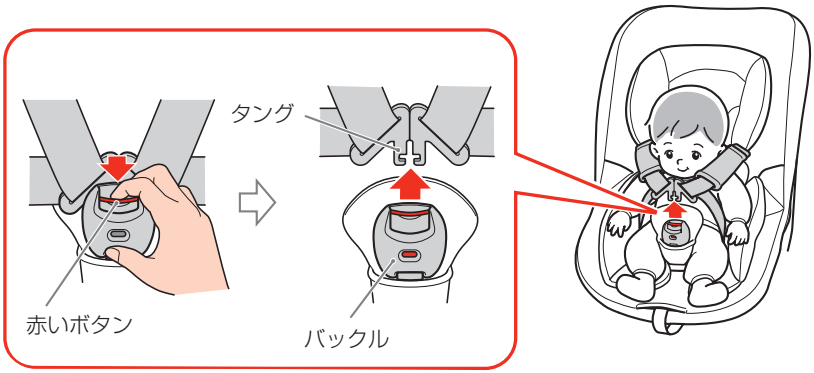
お子さまを降ろす

1 **①アジャストボタンを押しながら、②胸のところに手を入れて肩ベルトを引き出してゆるめる。**

ヒント

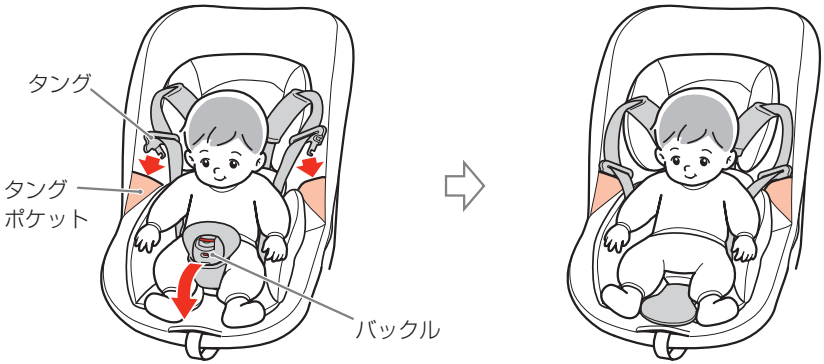
- 肩ベルトを引き出すときには、**肩ベルトパッドを引っ張ってもゆるみません。**タング、またはタングの付いている肩ベルトを引っ張ってください。
- 肩ベルトはアジャストボタンを押している間だけ、引き出してゆるめることができます。

2 **バックルの赤いボタンを押し、バックルからタングを外す。**



3 お子さまの腕から肩ベルトを外す。

4 タングをポケットに収納し、バックルを前に倒す。



5 お子さまをチャイルドシートから降ろす。

ご注意

炎天下に駐車するときは、タングが熱くなるのを防ぐため、必ずタングをタングポケットに収納するか、バックルに入れてロックしてください。

ヒント

- お子さまの首が据わっていない場合は、首の後ろとおしりの下を手で支えると降ろしやすくなります。
- タングをタングポケットに入れたままにしておくと、次回お子さまを乗せやすくなります。

その他

【お手入れ】 ➡ 50ページ

【本書を収納する】 ➡ 58ページ

【保管する】 ➡ 58ページ

【廃棄する】 ➡ 58ページ

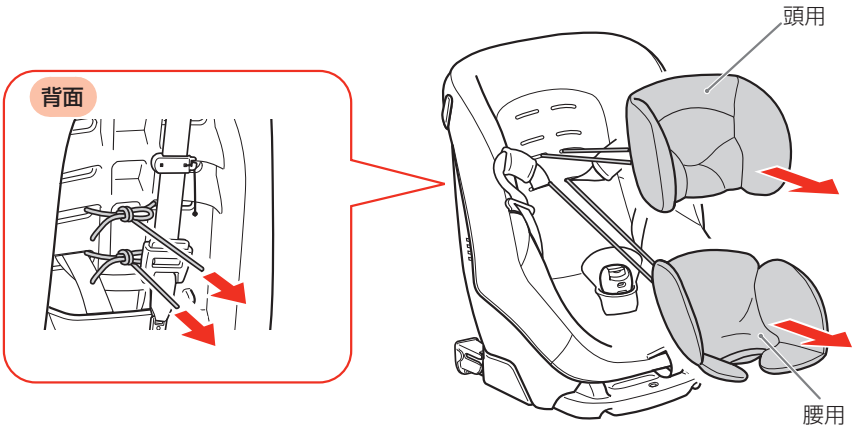
【製品仕様】 ➡ 59 ページ

お手入れ

「ママの手」クッションや本体カバーは、汚れたら取り外して洗うことができます。

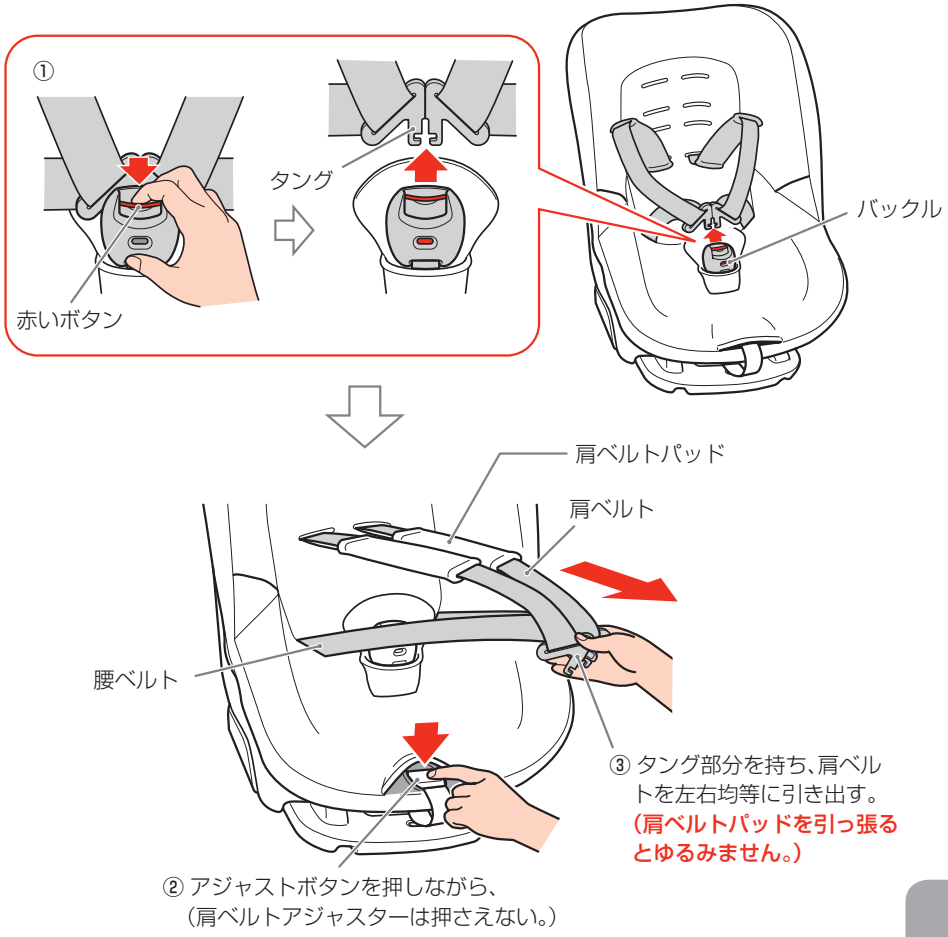
頭用、腰用「ママの手」クッションを取り外す

チャイルドシート背面の、頭用、腰用「ママの手」クッションのひもの結び目を解き、腰用のクッションはバックルから外し、それぞれを前から引き抜いてください。



本体カバーを取り外す

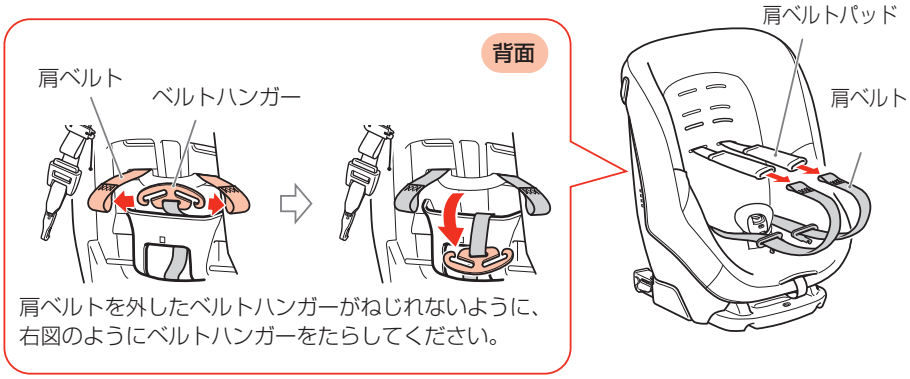
1 **①バックルの赤いボタンを押してバックルからタングを外し、②アジャストボタンを押しながら、③肩ベルトを引き出せなくなるまで引き出す。**



ヒント

- 肩ベルトを引き出すときには、**肩ベルトパッドを引っ張ってもゆるみません。**タング、またはタングの付いている肩ベルトを引っ張ってください。
- 肩ベルトはアジャストボタンを押している間だけ、引き出してゆるめることができます。

2 背面にあるベルトハンガーから肩ベルトを外し、シート正面から肩ベルトを引き抜く。

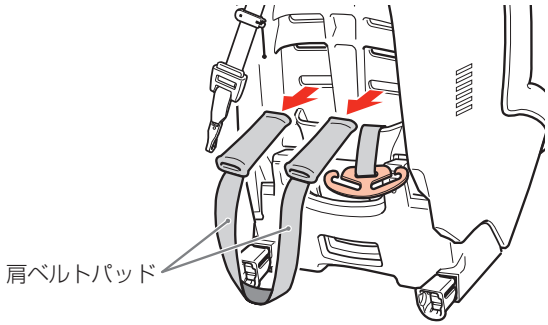


肩ベルトを外したベルトハンガーがねじれないように、右図のようにベルトハンガーをたらしてください。

ヒント

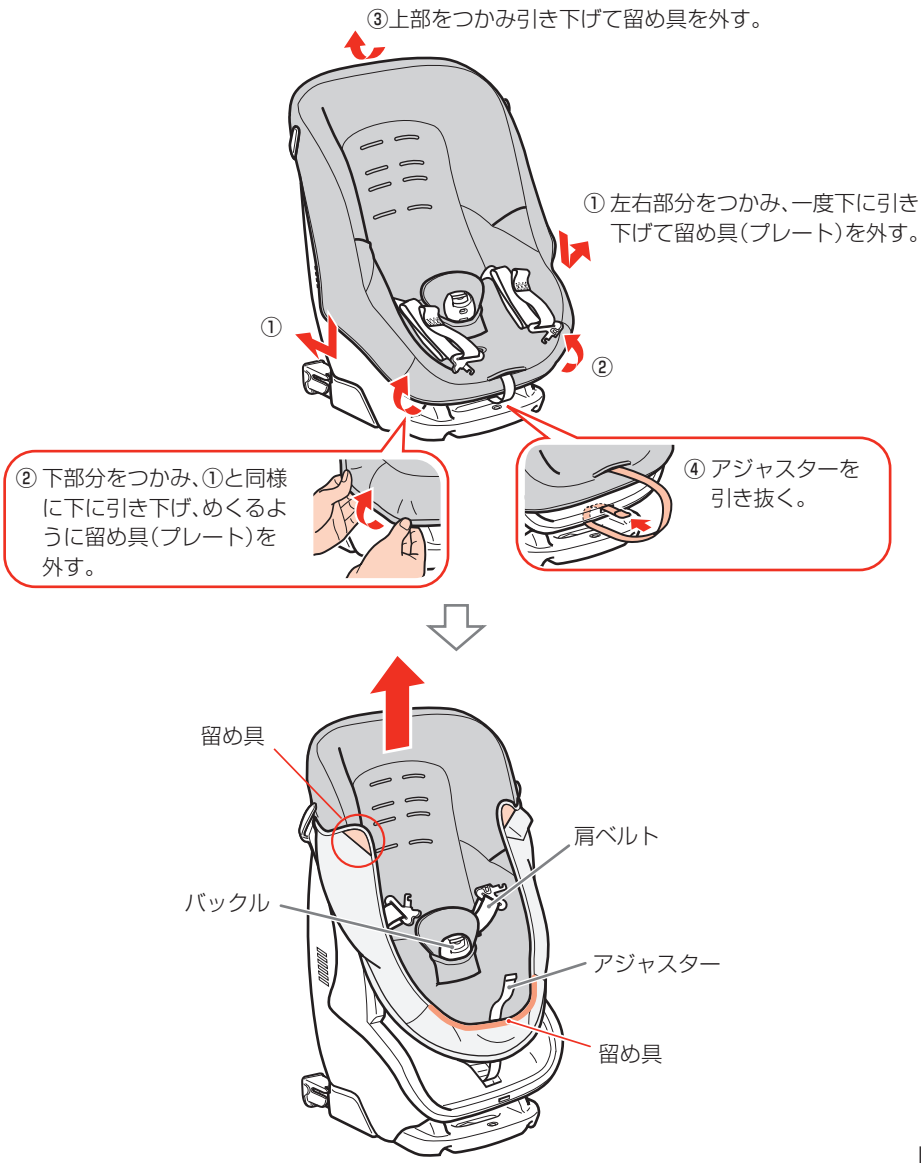
ベルトハンガーが見当たらない(見つからない)のは、ベルトハンガーがベースの中にかくれているためです。**肩ベルトを十分にゆるめて**ベルトハンガーを外側に引き出してください。

3 肩ベルトパッドを背面から引き抜く。



4 本体カバーの留め具を外し、チャイルドシートからカバーを取り外す。

本体カバーの**左右部分をつかみ、一度下に引き下げ**留め具を外します。
その後、上下のカバーをめくるように外してください。下側の留め具を外したら、本体から肩ベルトやバックル、アジャスターを外してください。



お手入れする

「ママの手」クッションやカバー類、肩ベルトパッド

「ママの手」クッションやカバー類、肩ベルトパッドは、チャイルドシートから取り外したら、以下の注意項目に従ってお手入れしてください。

洗濯上の注意			
	30℃以下の液温で手洗いしてください。		ドライクリーニングはしないでください。
	塩素系漂白剤による漂白はできません。		ねじり絞りは避けてください
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。		形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。

ヒント

材質について

本品はクッション性能向上のため、本体クッションやカバー、パッドにウレタンフォームを使用しています。ウレタンフォームの特性上、変色することがありますが、使用上の問題はありません。

本体部分

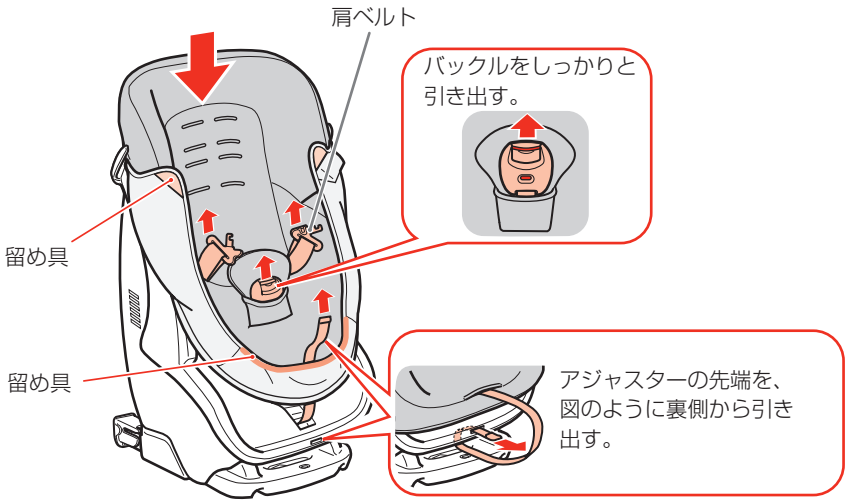
カバー類で覆われていないところの汚れは、柔らかいきれいな布で拭いてください。それでも落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。

ご注意

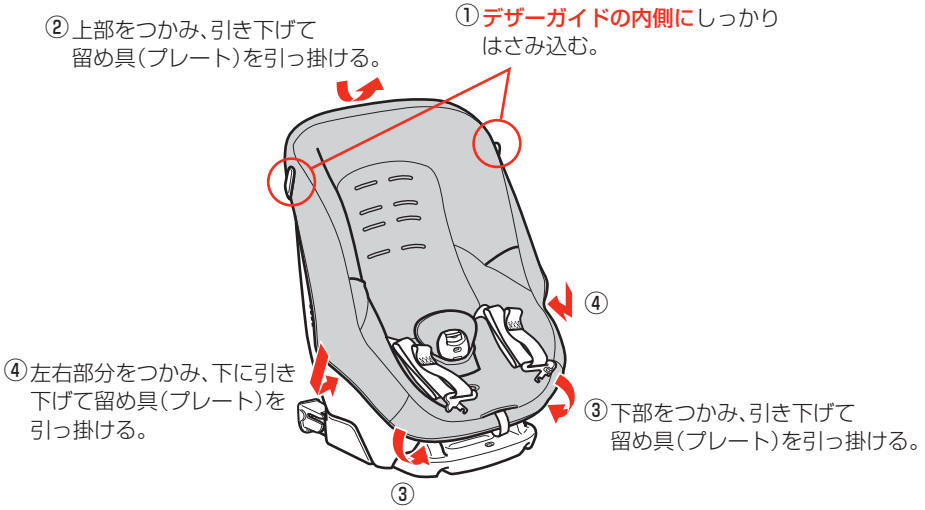
- 本体の強度が落ちますので、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- お手入れの際、バックルに異物や液体が入らないようにご注意ください。もし、異物や液体が入ってしまった場合は、当社サービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

本体カバーを取り付ける

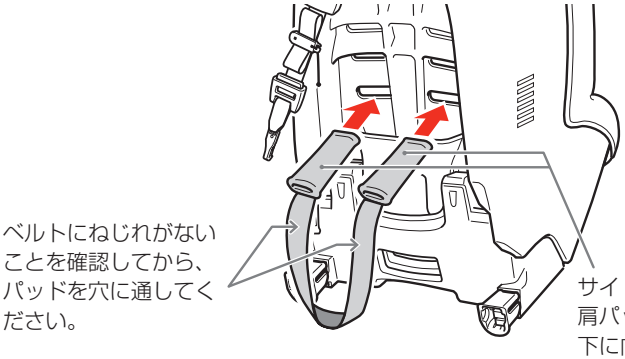
1 **本体カバーの穴に肩ベルトやバックル、アジャスターを通す。**



2 **本体カバーは左右にずれないように中心を合わせてから、①〜④の順にカバーを取り付ける。**



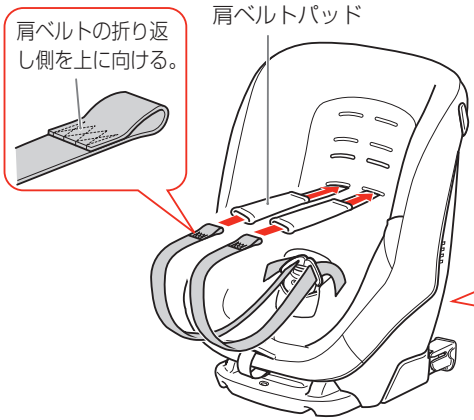
3 お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認し、背面から肩ベルトパッドがねじれないように通す。



ヒント

肩ベルトの高さについて詳しくは、「取り付けの前に準備する－STEP2：お子さまの肩の高さに合った肩ベルト通し穴を確認する」（19ページ）をご覧ください。

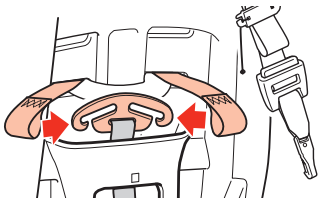
4 肩ベルトパッドに肩ベルトを通し、さらに手順3で肩ベルトパッドを通した同じ穴に肩ベルトを通す。背面に出た肩ベルトをベルトハンガーにかける。



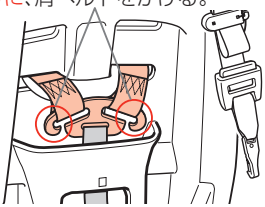
肩ベルトとパッドはチャイルドシートの前面と背面で同じ高さの穴に通す。

背面

肩ベルトにねじれがないか確認する。

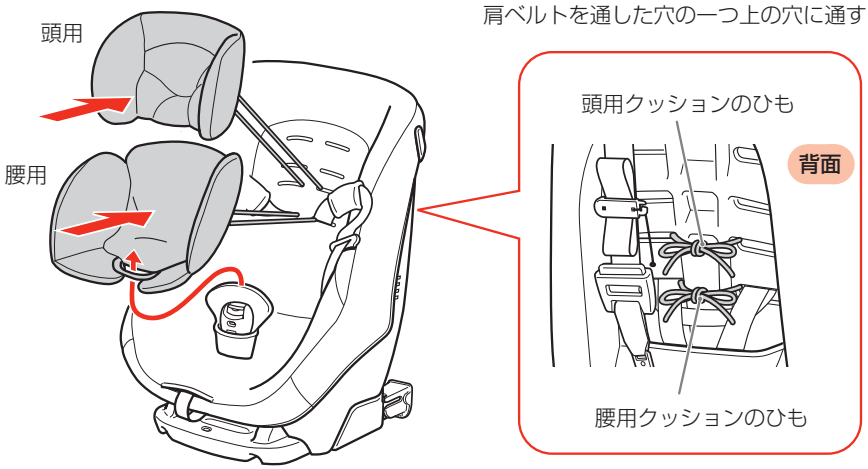


ベルトハンガーの切り込みが見えるように、肩ベルトをかける。



5 「ママの手」クッションを取り付ける。

頭用：肩ベルトを通した穴より1段上の穴にひもを通してください。
腰用：一番下の穴にひもを通してください。



ヒント

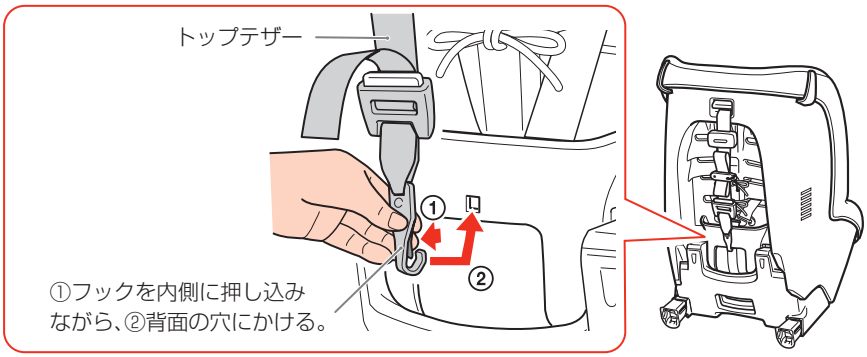
「ママの手」クッションの取り付け位置について詳しくは、「頭用「ママの手」クッションの取り付けかた」(25ページ)をご覧ください。

本書を収納する

取扱説明書は本体カバーの左側面の裏にあるポケットに、たてに2つ折りにして収納し、車で使用中などいつでも見られるようにしてください。

保管する

- 本品に市販の袋などをかぶせて、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- ベースにシートを取り付けた状態で保管してください。
- **ベースの左右のコネクタ部にフィックスガイドを必ず取り付けてください。コネクタ部を短くすることができ、また、フィックスガイドの紛失防止になります。(40ページ)**
- トップテザーは本体に固定することができます。



廃棄する

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分、廃棄してください。
- 事故により本品を処分する場合は、油性ペンなどで本品の目立つところに「事故品」と記入してください。

製品仕様

製品寸法	前向き時：630（高）× 430（幅）430（奥行）mm 後向き時：460（高）× 430（幅）660（奥行）mm （ベースのコネクタ部最短時）
製品質量	9 Kg
本体材質	ポリプロピレン（一部ポリアセタール、ナイロンなど）

お客様の登録システムについて（お申し込み無料）

ご登録頂きましたお客様へ、安心の『トリプル保証』でサポートさせて頂きます。

①4年間の製品ロング保証

②万一の交通事故の際にチャイルドシート無料交換 (保証期間4年)

③チャイルドシート見舞金制度 (保証期間1年)

注）詳細は同梱の「トリプル保証 お申し込みのご案内」をお読みいただき、ご登録ください。

注）他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。

キリトリ線

保　証　書

〈保証規定〉

1. 保証期間内（ご購入日より4年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   A. 樹脂（プラスチック）部品の紫外線等自然劣化による変色。
   B. 本体カバー等の縫製部品の汚れや損傷。
   C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   G. 本証書のご提示がない場合。
   H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
6. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
7. 日本国内のみ有効

CARMATE　株式会社カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

お問合わせ先

★商品のお問合わせや、替えカバーなどのパーツ購入については……

カーメイトサービスセンター

TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

パソコンからは…http://www.carmate.co.jp/support/

電話受付時間〈平日〉10:00～18:30
〈土・日・祝〉10:00～12:00/13:00～18:30

★年始および盆期間の一部等は休業日とさせて頂きますのでご了承ください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

株式会社 カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

キリトリ線

保　証　書

本証書は、裏面に記載の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。
ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社サービスセンター
またはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

ご購入後、ご使用になる前にご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
(製造番号は本体のベース側面に記載されております。)

商品名　エールベベ・キュートフィックス	製造番号　L10S123456 などの英数字
保証期間　ご購入日より4年間（但し保証規定による）	ご購入日　年　月　日
お名前 ご住所　〒 TEL.	ご購入店名 住所　〒 TEL.
修理メモ	